

熊本商工会議所

2018年経済予測アンケート

調査結果

KEY WORD

- ★景気の現状 … 「やや好転」が 32.7%でトップ
(2017年11月) 「かなり好転」6.3%と合わせると約4割が好転と回答
- ★景気の回復予測 … 「わからない」が 40.2%でトップ
「既に回復している」が対前年比 14.3%の大幅増
- ★産業別予測 … 【全業種】「やや好転」が 39.0%でトップ
(2018年) 次いで「変わらない」が 30.3%
「好転」割合が高い業種
【建設業】65.3% 【製造業】42.5%
「悪化」割合が高い業種
【卸売・小売業】21.7% 【飲食業】20.5%
- ★円市場予測 … 「やや円安」が 24.4%、「やや円高」が 20.1%と結果が
分かれる
- ★株式市場予測 … 「やや株高傾向」35.8%、「やや株安傾向」14.2%と
株高傾向が株安傾向を大きく上回る
- ★経営上の問題点 … 「従業員の確保難」が 47.2%でトップ、次いで「人件
費の増加」が 31.5%と深刻さを増す人手不足
- ★経営上の重視点 … 前年に続き 9割超が「収益」を重視、次いで「売上
高(完工高・取扱高)」が 87.8%

熊本商工会議所

2017年12月

<本調査の問い合わせ>

熊本商工会議所 商工観光振興部 情報調査課

TEL354-6688 FAX352-5202

熊本商工会議所
2018 年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	4
4. 円市場	12
5. 株式市場	14
6. 金利	16
7. 経営の問題点	17
8. 経営の重視度	18

※ 巻末…「2018 年経済予測アンケート」調査用紙

調査概要

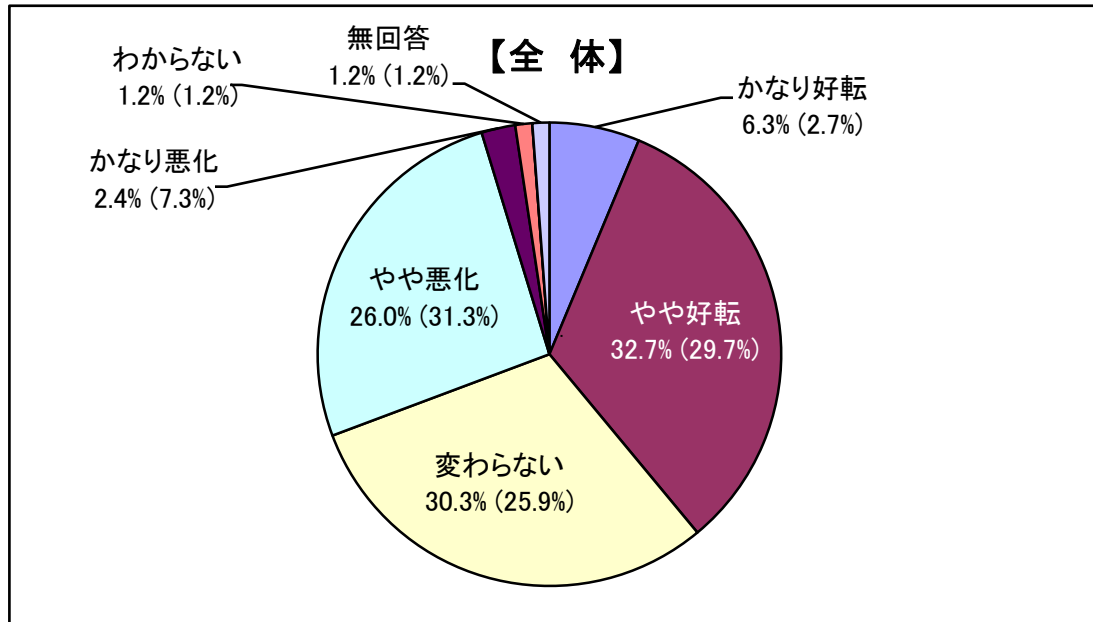
1. 調査期間 平成 29 年 11 月 17 日(金)~11 月 24 日(金)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 100 名
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業代表者 397 名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に
おいては小規模企業と表記する)
3. 配布数 497 名
4. 調査方法 調査用紙配布:FAX又はメール便送付 調査票回収:FAX
5. 回答者数 254 名(有効回答率 51.1%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

2017年11月 景気の現状

※ グラフの()内は、前年数値

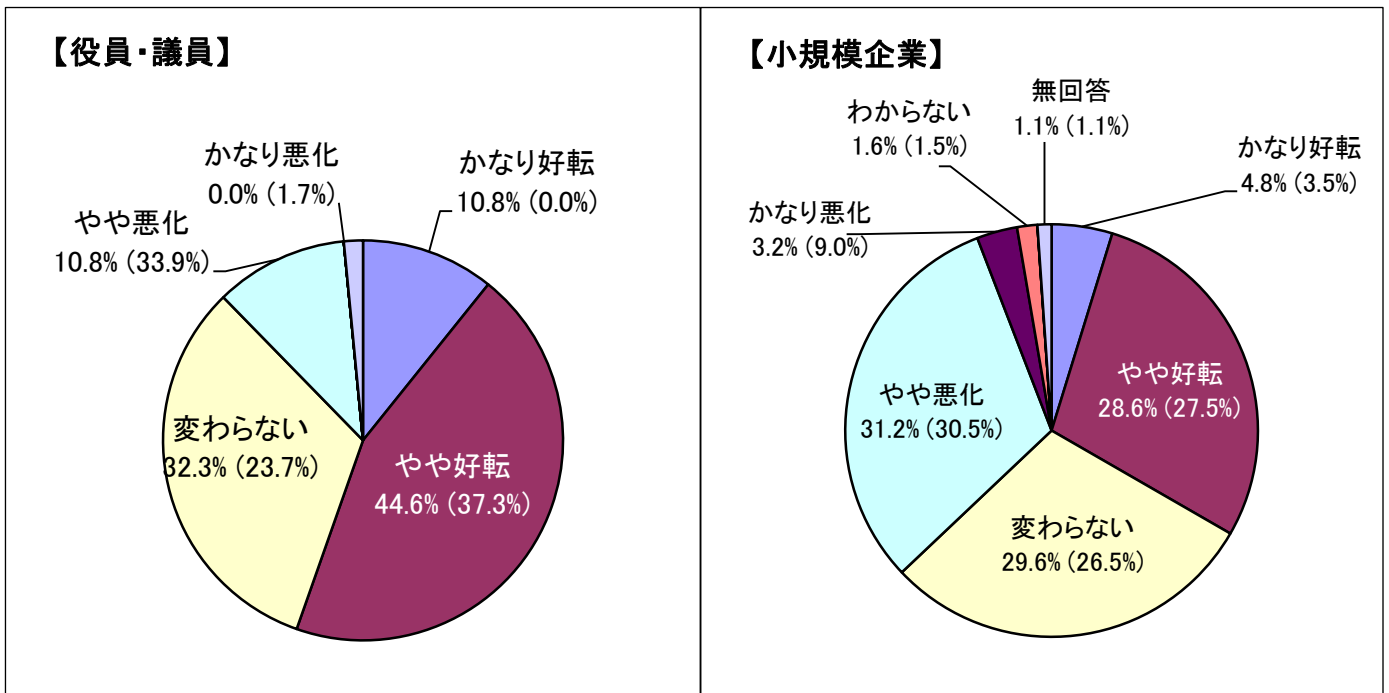
「やや好転」が32.7%でトップ。「かなり好転」6.3%と合わせると、約4割が好転と回答



景気の現状(2017年11月)については「やや好転」が32.7%(対前年比+3.0%)でトップ。次いで「変わらない」で30.3%(対前年比+4.4%)。「かなり悪化」、「やや悪化」についてはともに5%前後の減少となっており、全体的に見ると好転傾向にあると考えられる。

2017年11月 規模別の景気の現状

【役員・議員】は「やや好転」がトップ、【小規模企業】は「やや悪化」がトップと明暗分かれる

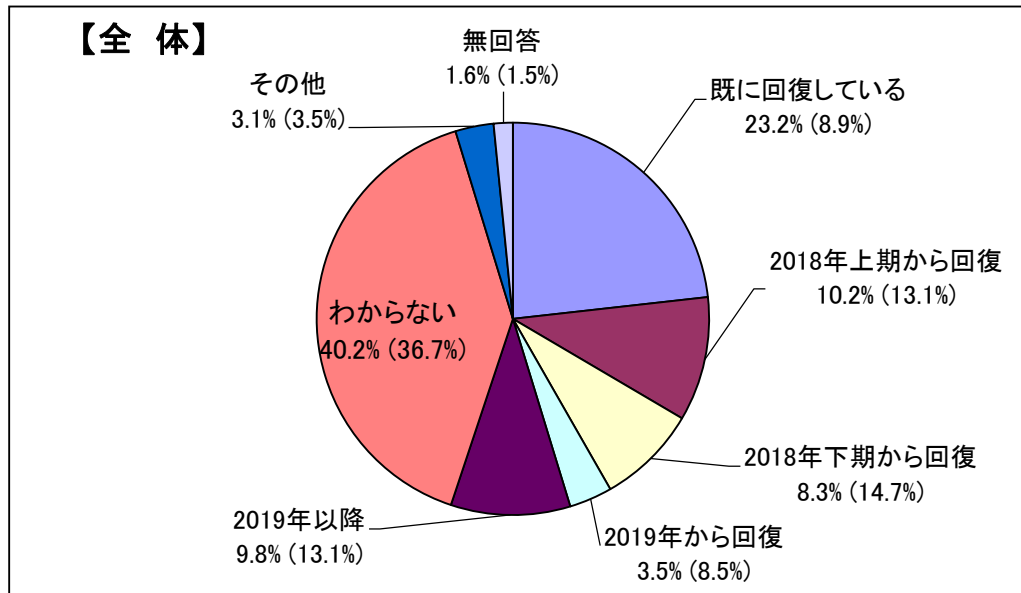


【役員・議員】では、「やや好転」が44.6%でトップとなり、「かなり好転」と10.8%と合計すると55.4%が好転と回答。【小規模企業】では、「かなり好転」と「やや好転」を合計すると33.4%で、企業規模によって大きく差が出る結果となった。

2018年 景気の回復時期

※ グラフの()内は、前年数値

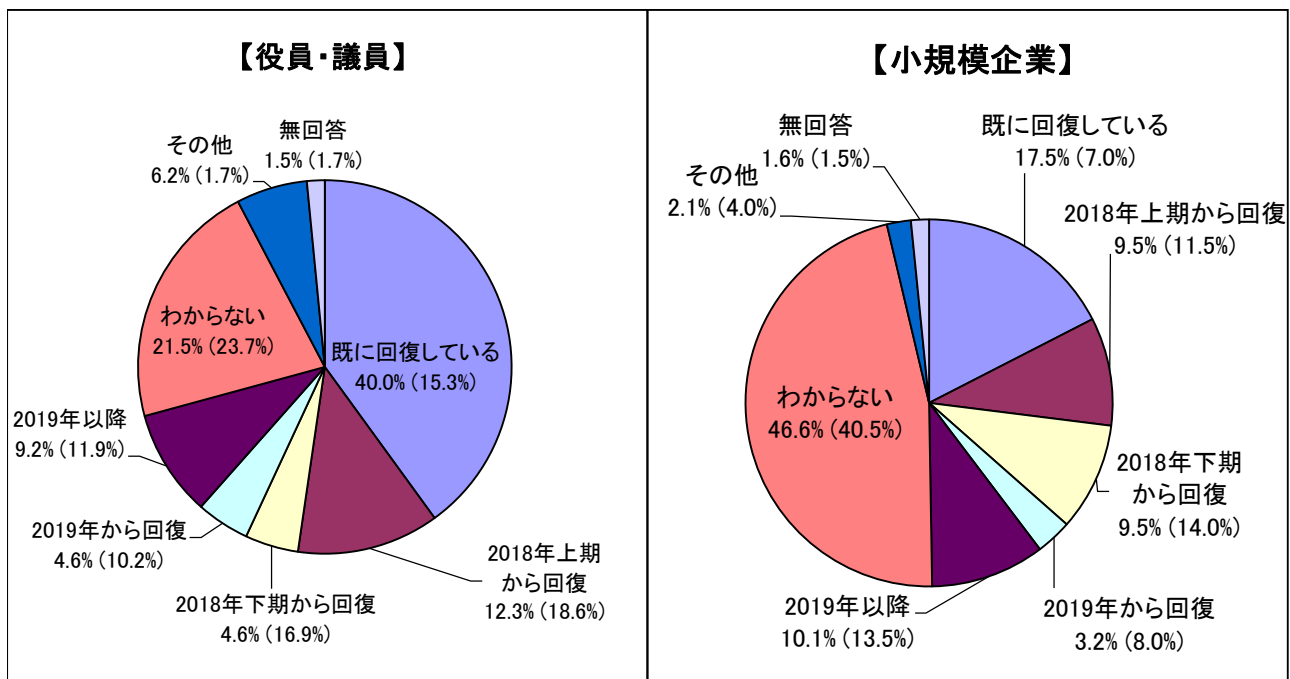
「わからない」が40.2%でトップ。「既に回復している」が対前年比で14.3%の大幅増。



「わからない」が40.2%でトップ。次いで「既に回復している」で、23.2%(対前年比+14.3%)と大幅に増加しており、熊本地震に係る復興需要が影響しているものと考えられる。一方で2018年上期以降の具体的な回復時期については「2019年以降」を除いていずれも10%前後となっており、回答にばらつきが見られる。

2018年 規模別の景気の回復時期

【役員・議員】は「既に回復している」がトップ、【小規模企業】は「わからない」がトップ

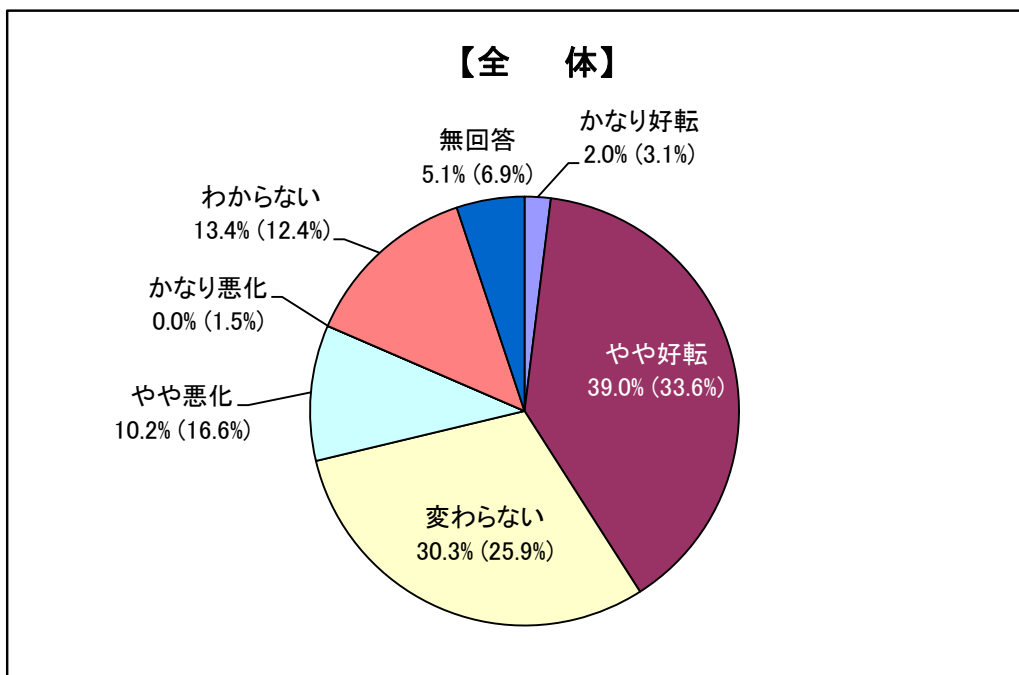


【役員・議員】では、「既に回復している」が40.0%(対前年比+24.7%)で大幅に増加し、トップ。
【小規模企業】では、「わからない」が46.6%(対前年比+4.1%)でトップ、また「既に回復している」は17.5%に留まり、【役員・議員】とは回答が分かれる結果となった。

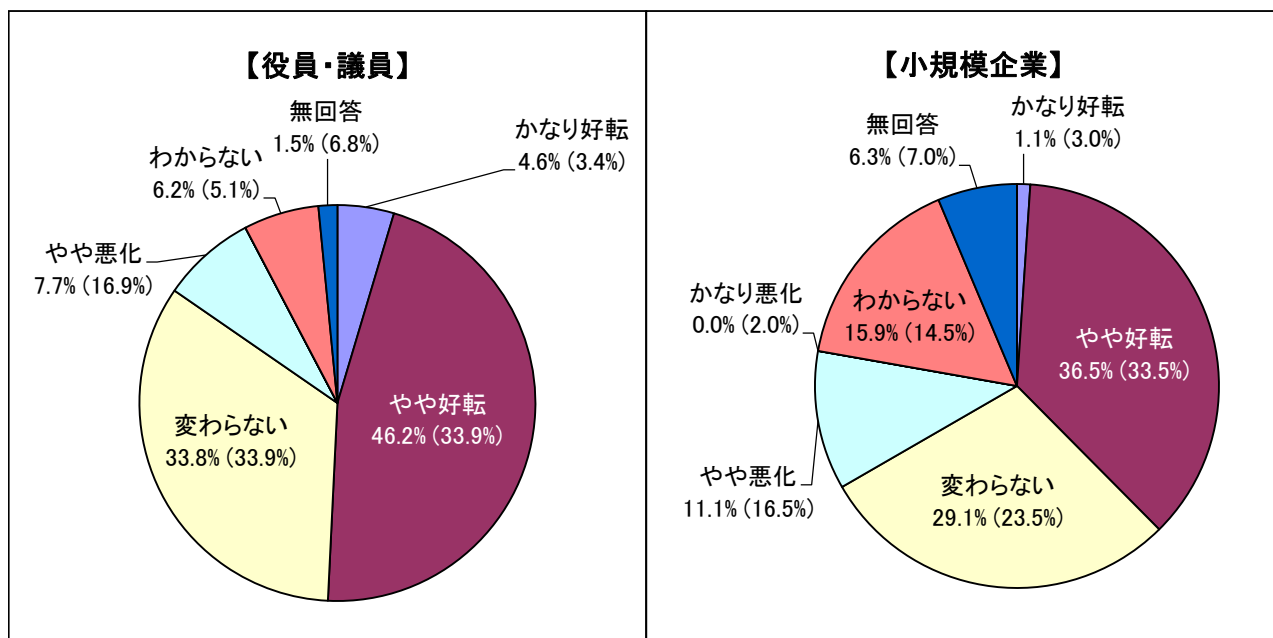
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

全 業 種



2018年の全業種の動向については、「やや好転」が39.0%(対前年比+5.4%)でトップ。次いで、「変わらない」が30.3%(対前年比+4.4%)で2位。3位は「わからない」の13.4%(対前年比+1.0%)であった。

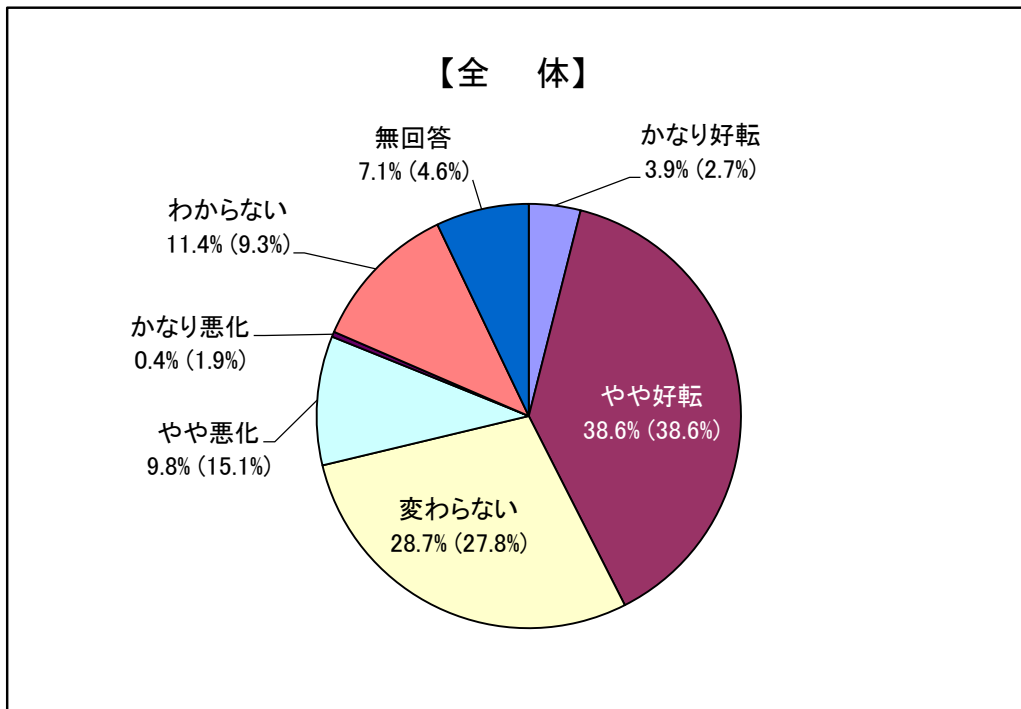


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」が「やや悪化」を大幅に上回る結果となった。特に【役員・議員】では、「やや好転」が46.2%(対前年比+12.3%)となり、大幅に増加した。

2018年 産業別動向

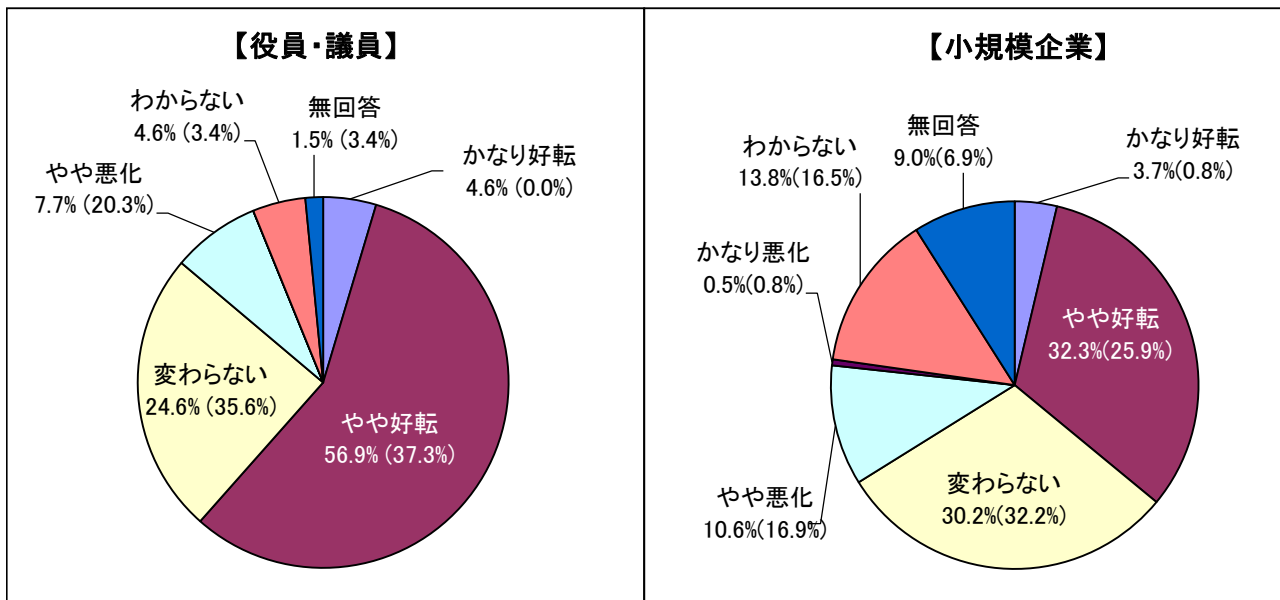
※ グラフの()内は、前年数値

製 造 業



2018年の製造業の動向については、「やや好転」が38.6%でトップ。次いで「変わらない」28.7%、「わからない」11.4%という結果となった。

前年と比較すると、「やや悪化」と「わからない」の順位が入れ替わった他は、傾向としてはほぼ同様の結果となった。

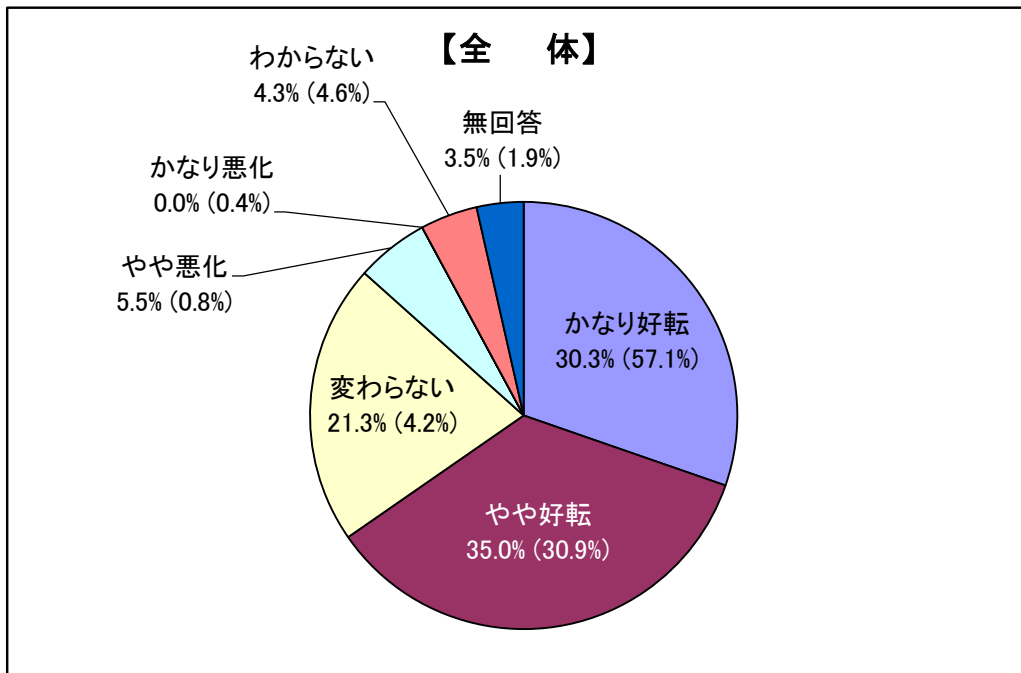


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや好転」がトップ。【役員・議員】は「やや好転」が対前年比+19.6%、「やや悪化」が対前年比-12.6%、【小規模企業】は「やや好転」が対前年比+6.4%、「やや悪化」は対前年比-6.3%と、どちらも好転傾向にあるという結果になった。

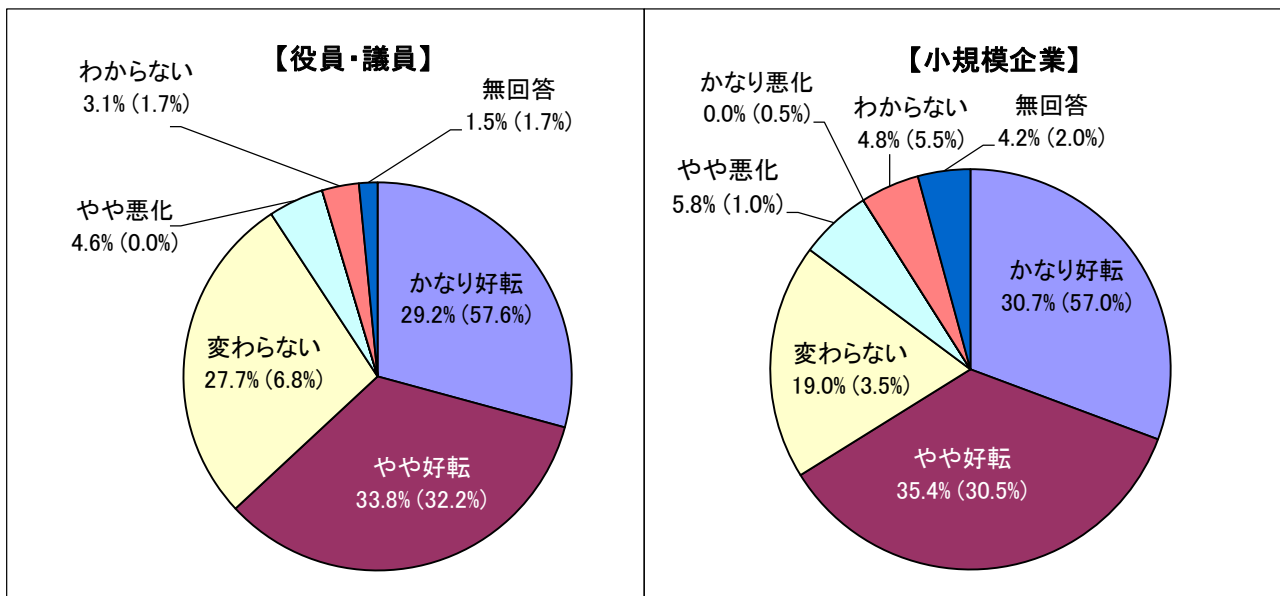
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

建設業



2018年の建設業の動向については、「かなり好転」が30.3%(対前年比-26.8%)、「やや好転」が35.0%(対前年比+4.1%)で、合計すると65.3%が好転を見込んでいるという結果となった。前年と比較すると、「かなり好転」と「やや好転」の合計が対前年比-23.7%と大きく減少しているものの、全体としての好転傾向が依然として続いている要因は、2018年も引き続き平成28年熊本地震に係る復興需要が続くと予想しているものと考えられる。

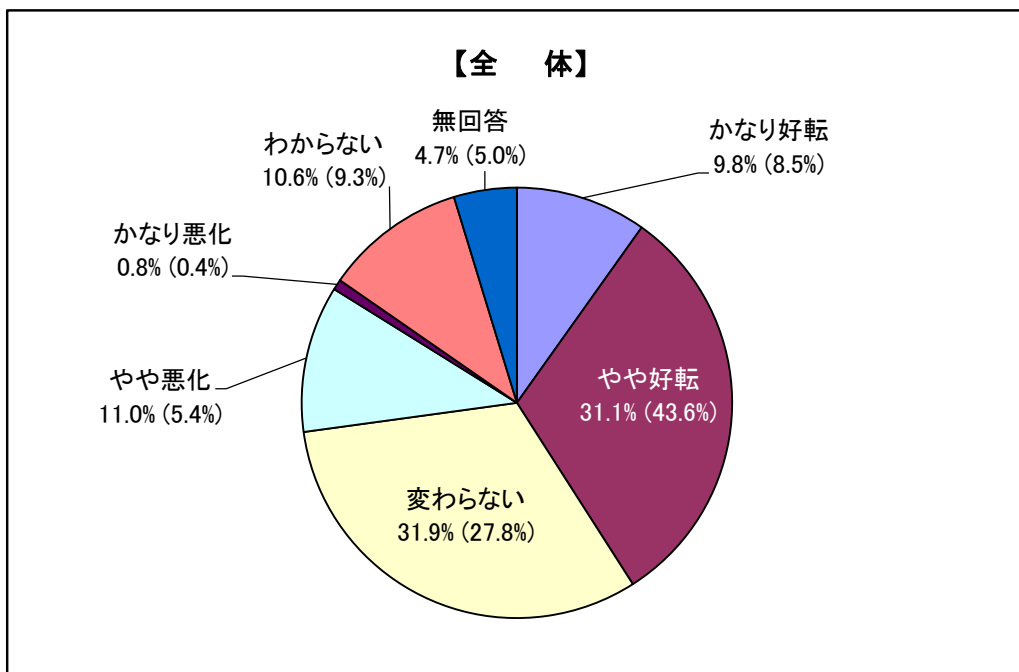


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「かなり好転」または「やや好転」と回答した事業者が6割を超えており、傾向としては大きな差はない。

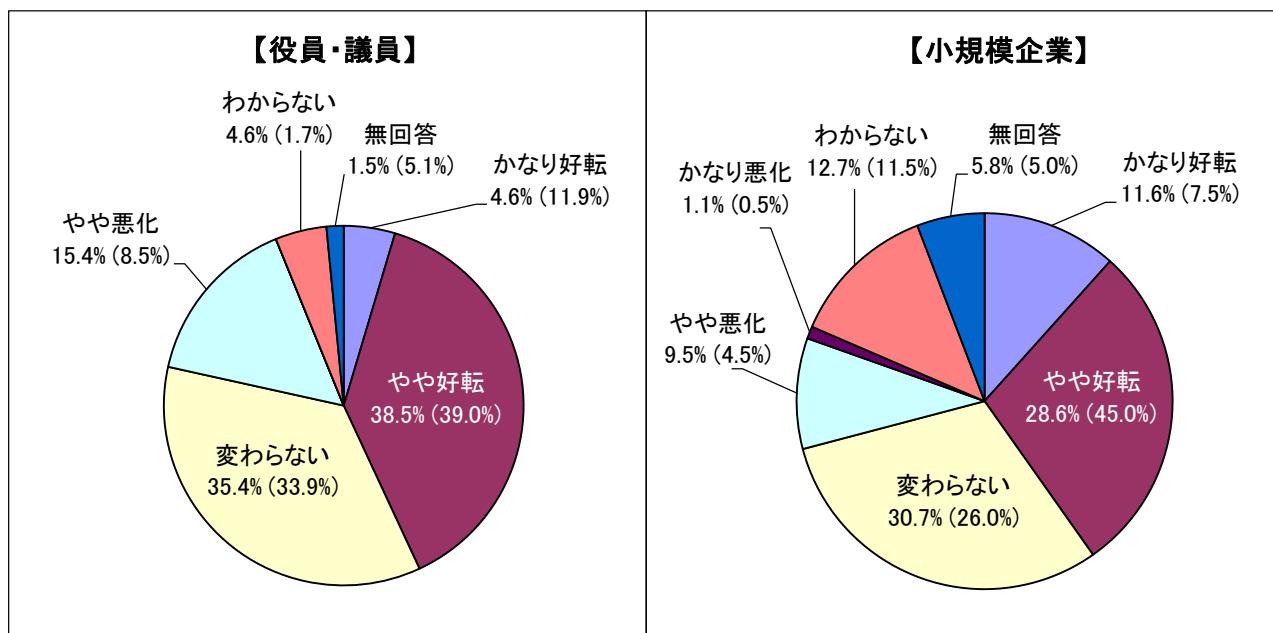
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

運輸・通信業



2018年の運輸・通信業の動向については、「変わらない」が31.9%(対前年比+4.1%)でトップとなった。次いで、「やや好転」で31.1%(対前年比-12.5%)と、大きく減少した。

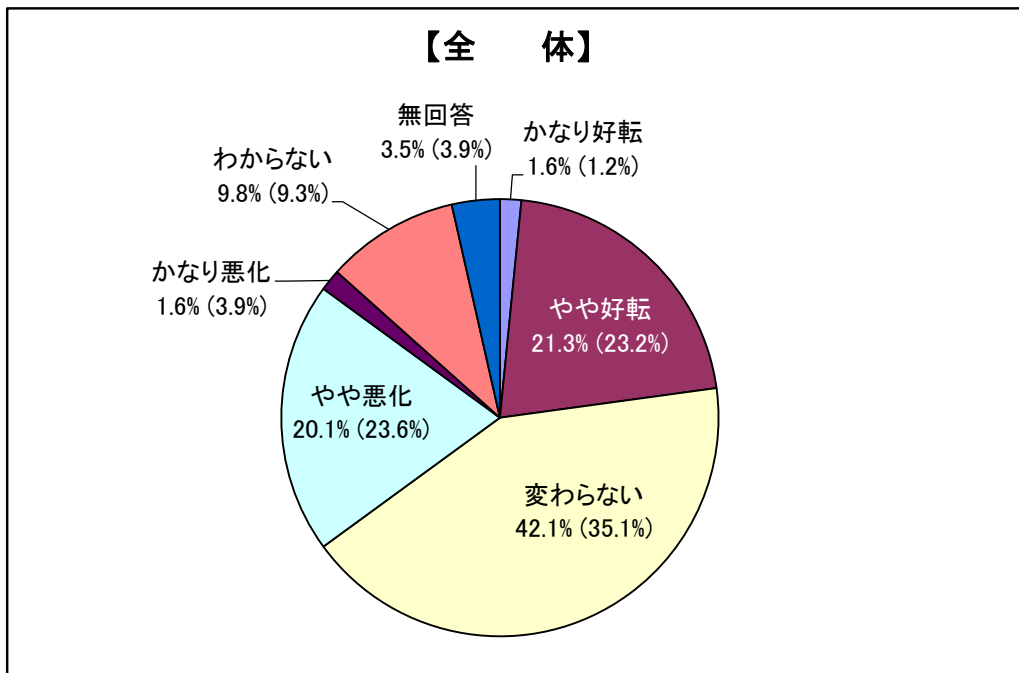


【役員・議員】は「やや好転」が38.5%(対前年比-0.5%)、【小規模企業】は「変わらない」が30.7%(対前年比+4.7%)でトップであった。

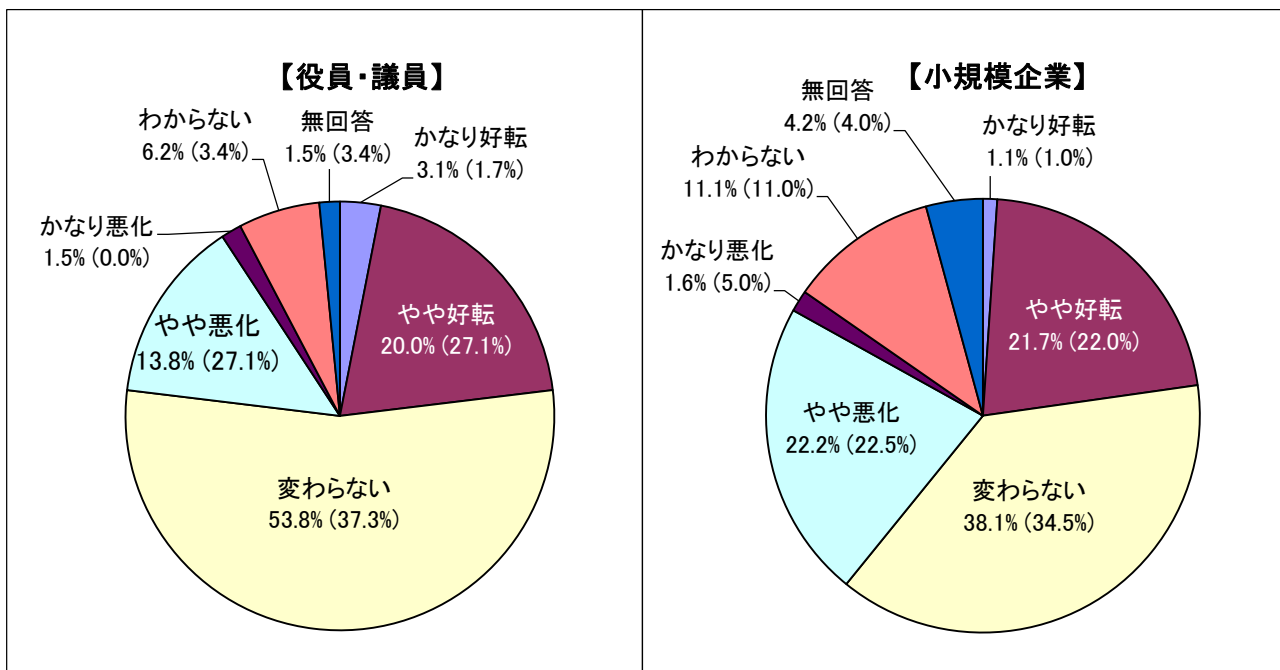
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

卸売・小売業



2018年の卸売・小売業の動向については、「変わらない」が42.1%(対前年比+7.0%)で前年に引き続きトップ。次いで「やや好転」が21.3%(対前年比-1.9%)となった。

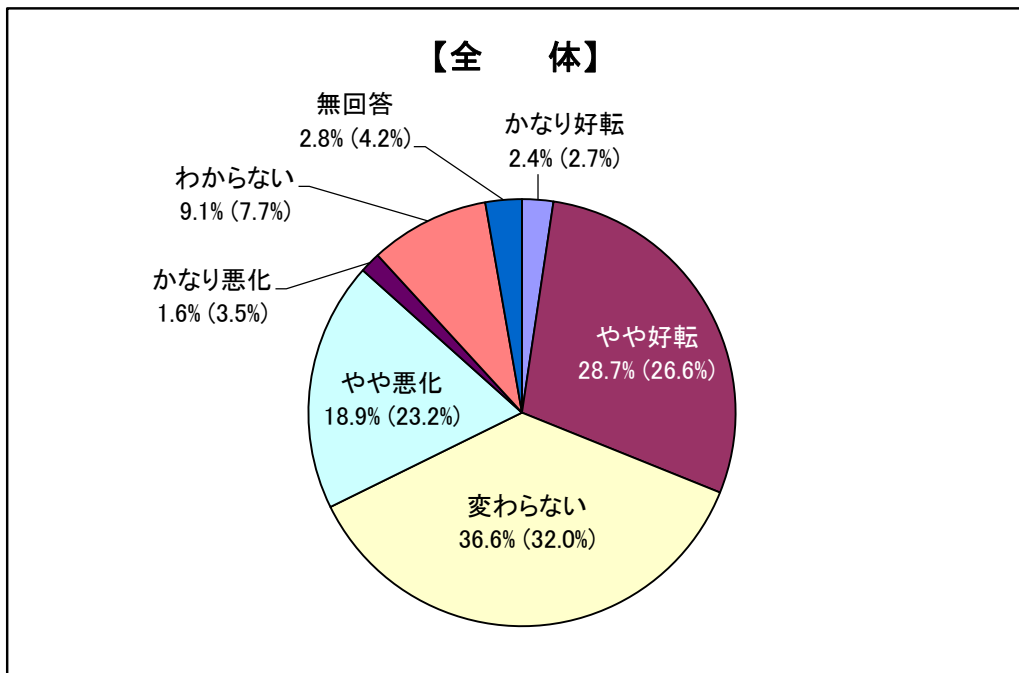


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。特に【役員・議員】においては53.8%(対前年比+16.5%)と半数以上を占める結果となった。

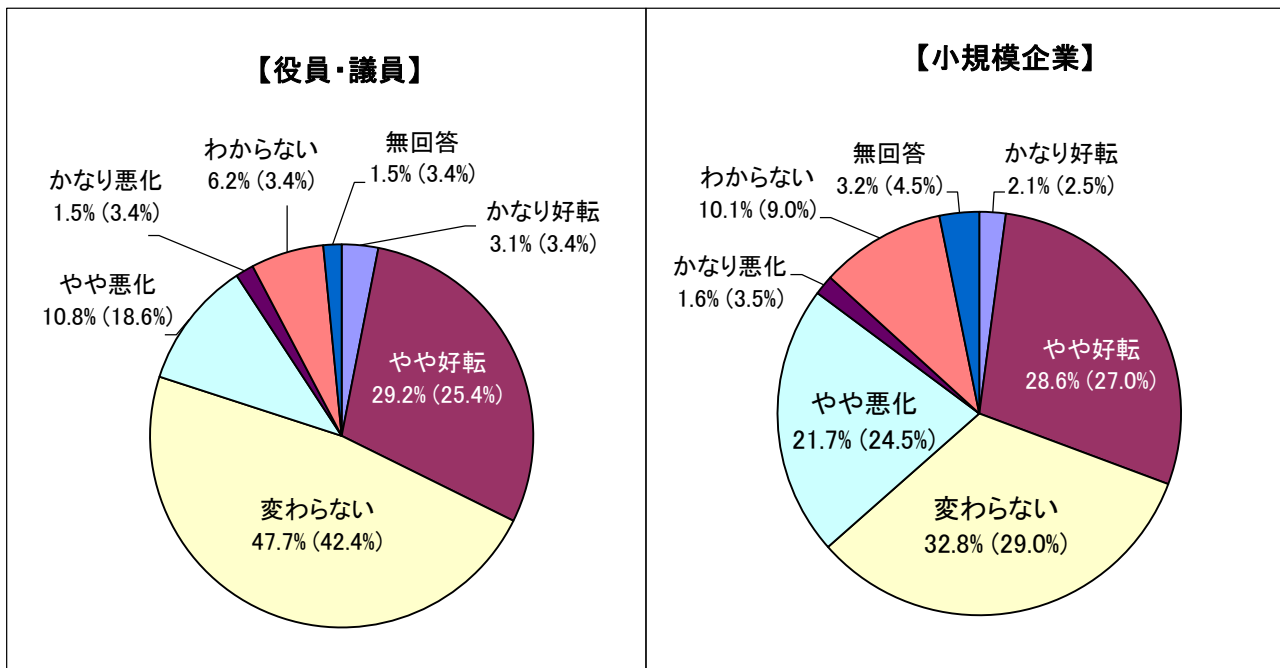
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

飲食業



2018年の飲食業の動向については、「変わらない」が36.6%(対前年比+4.6%)で前年に引き続きトップとなり、次いで「やや好転」が28.7%(対前年比+2.1%)、「やや悪化」が18.9%(対前年比-4.3%)となった。「やや好転」がわずかに増加、「やや悪化」が減少となっており、好転傾向の予測となった。

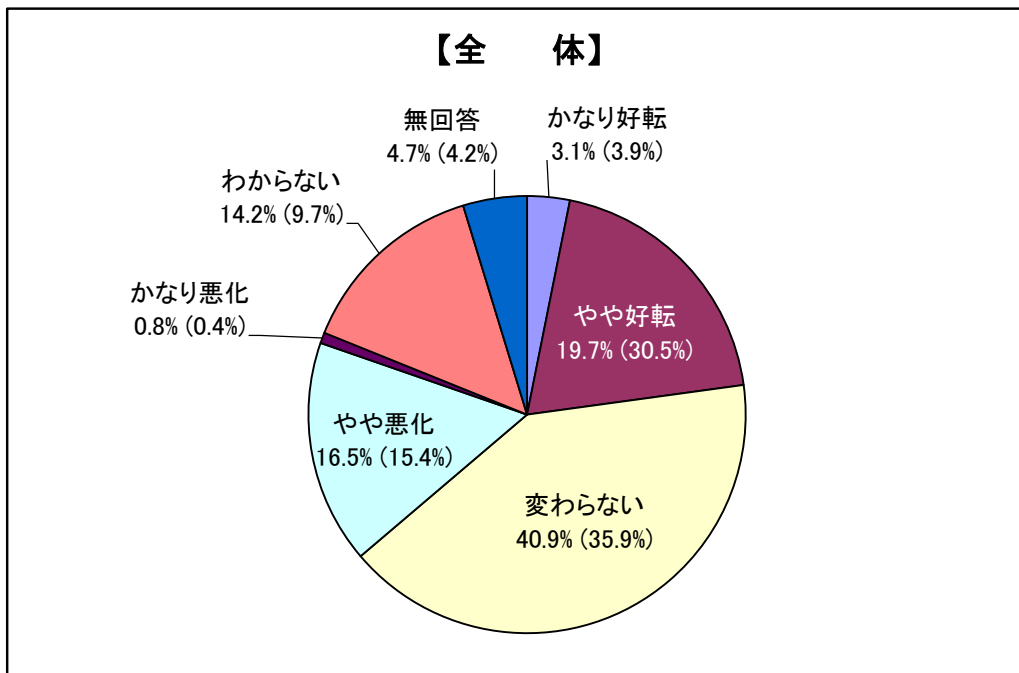


【役員議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。企業規模問わず「やや好転」が増加、「やや悪化」が減少しており、好転傾向にあると言える。

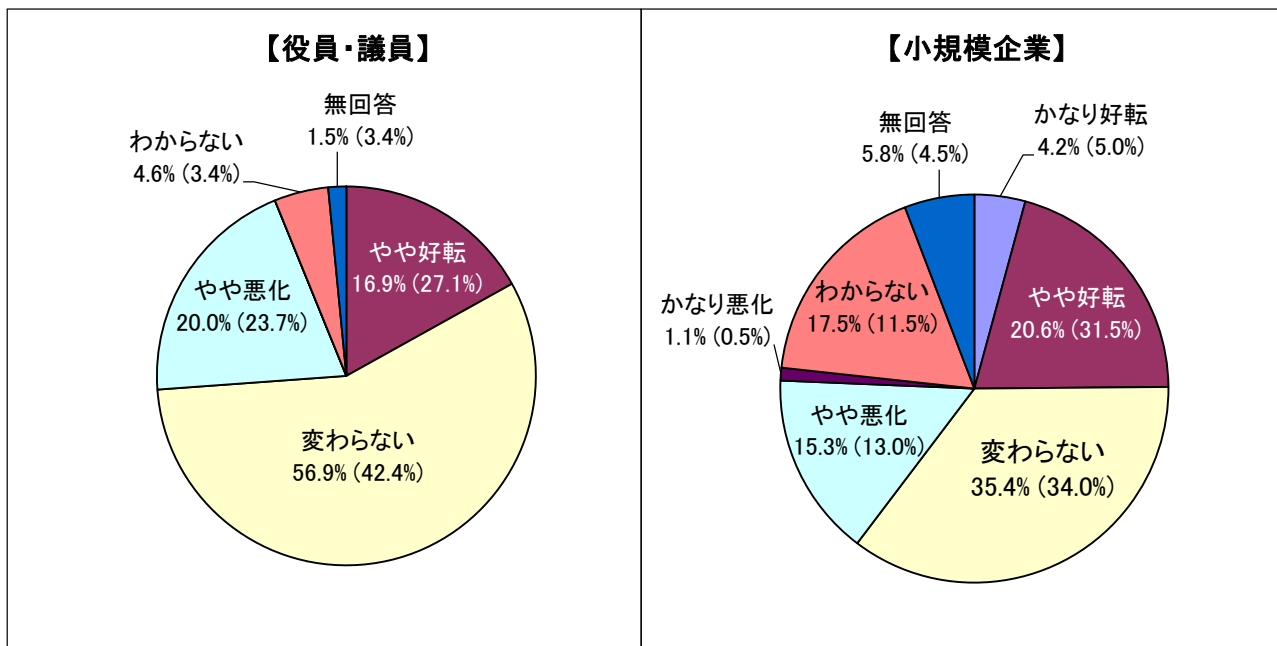
2018年 産業別動向

※ グラフの()内は、前年数値

金融・保険業

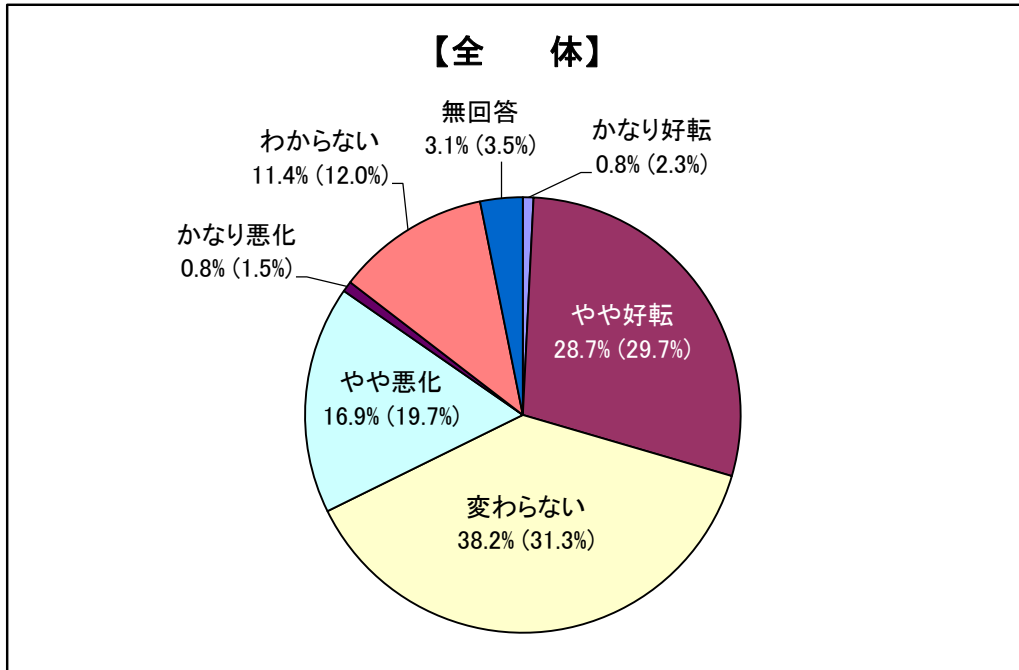


2018年の金融・保険業の動向については、「変わらない」が40.9%(対前年比+5.0%)で前年に引き続きトップとなった。一方で「やや好転」は19.7%(対前年比で-10.8%)と大きく減少している。

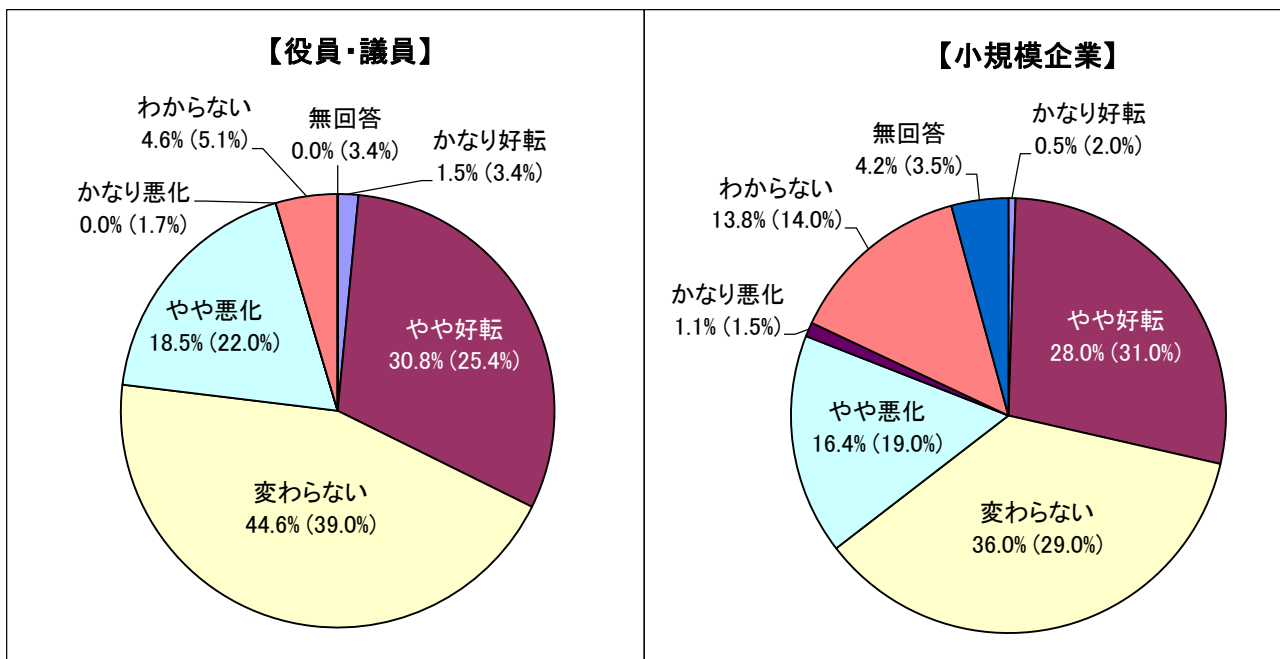


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップとなった。次いで【役員・議員】は「やや悪化」で20.0%(対前年比-3.7%)、【小規模企業】は「やや好転」で20.6%(対前年比-10.9%)と異なる結果となった。

サービス業



2018年のサービス業の動向については、「変わらない」が38.2%(対前年比+6.9%)で前年に引き続きトップとなった。次いで「やや好転」が28.7%(対前年比-1.0%)となった。

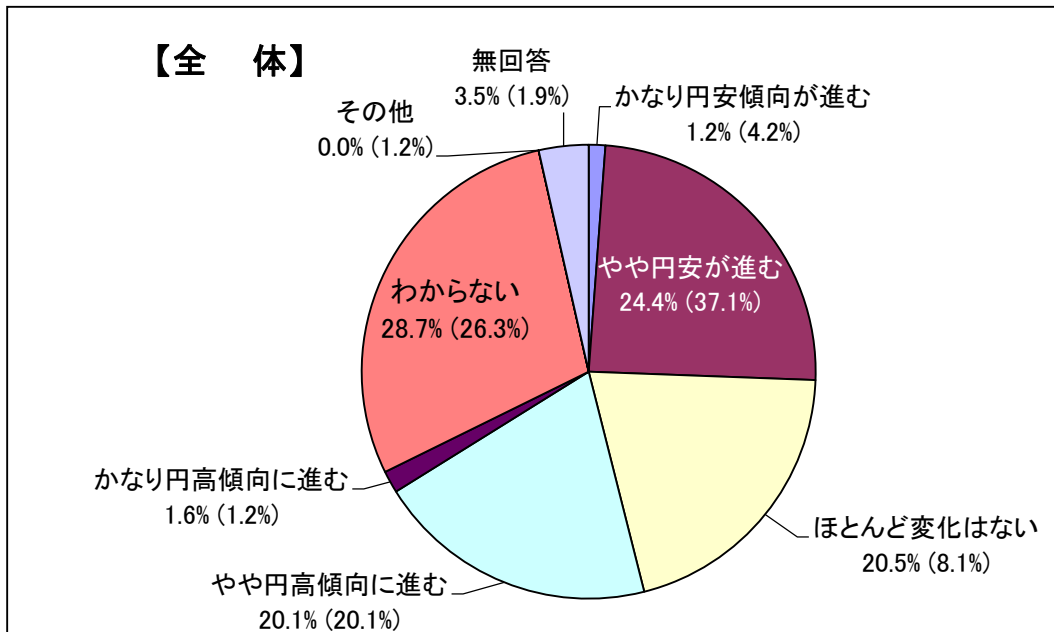


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変わらない」がトップ。【小規模企業】は前年トップの「やや好転」が次点となり、順位が入れ替わる結果となった。

円市場予測

※ グラフの()内は、前年数値

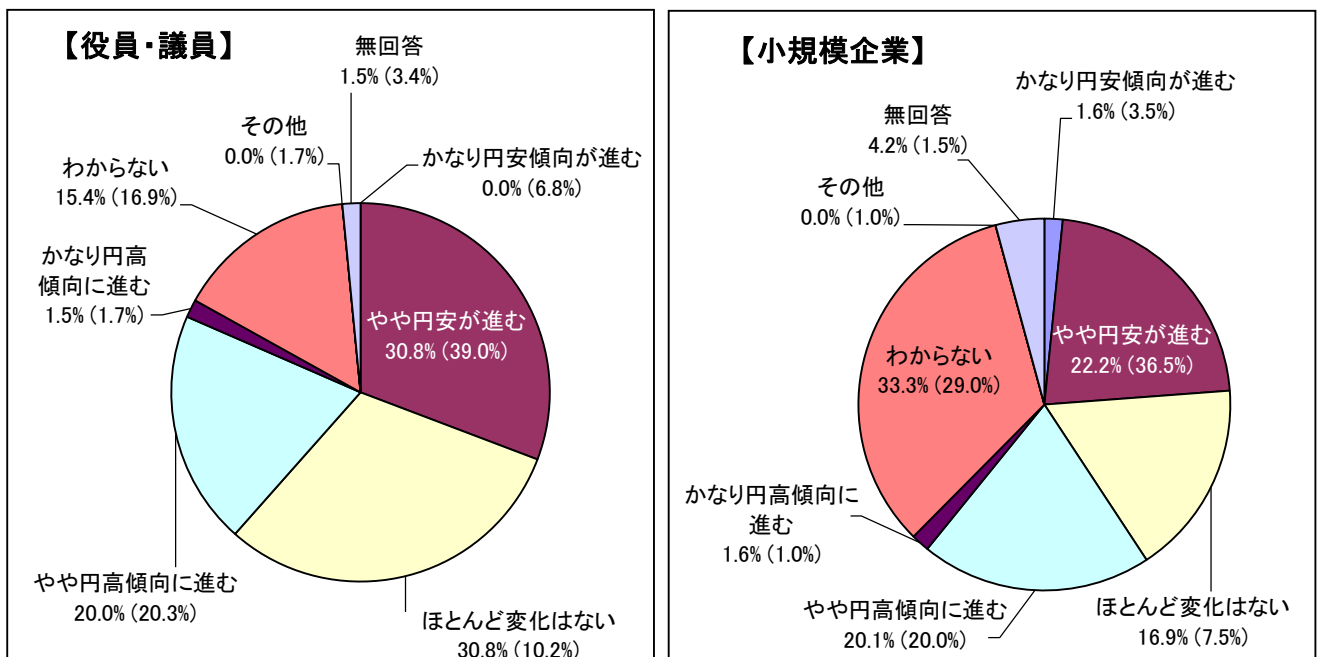
「やや円安」が24.4%、「やや円高」が20.1%と結果が分かれる



円市場の推移予測は、「やや円安」が24.4%(対前年比-12.7%)、「やや円高」が20.1%(対前年比±0)となった。また、「ほとんど変化なし」は20.5%(対前年比+12.4%)となっており、意見が割れる結果となった。

規模別の円市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」がトップ

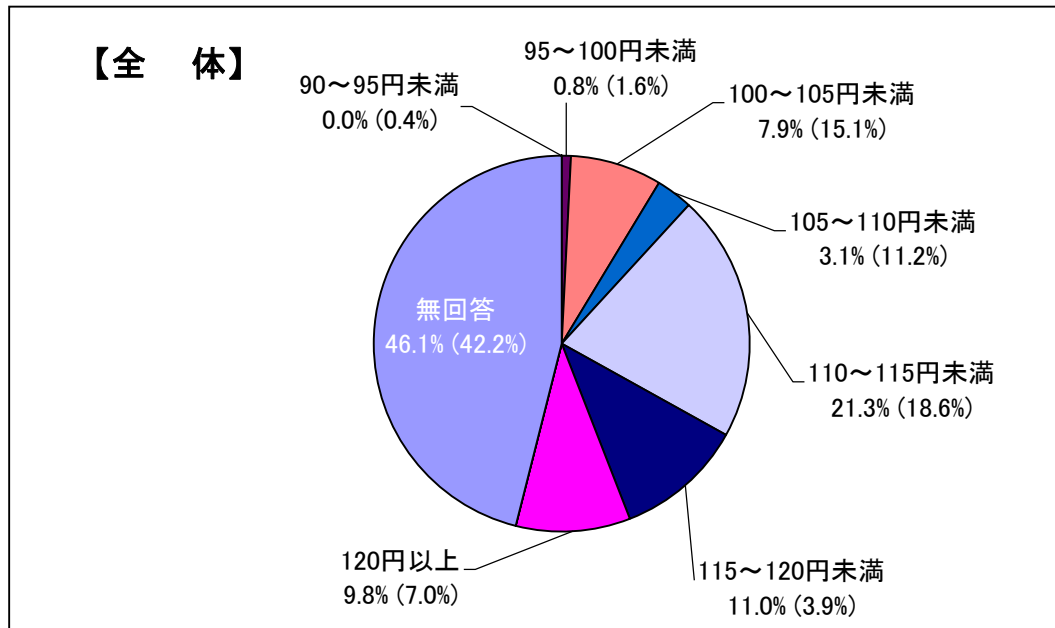


【役員・議員】は「やや円安」と「ほとんど変化はない」が並んでトップ、【小規模企業】は「わからない」がトップ、次いで「やや円安」となった。【小規模企業】は「やや円安」と「やや円高」との差が2.1%であるのに対し、【役員・議員】では10.8%とやや差が開く結果となった。

望ましい為替水準

※ グラフの()内は、前年数値

「110～115円未満」が21.3%でトップ、次いで「115～120円未満」で11.0%

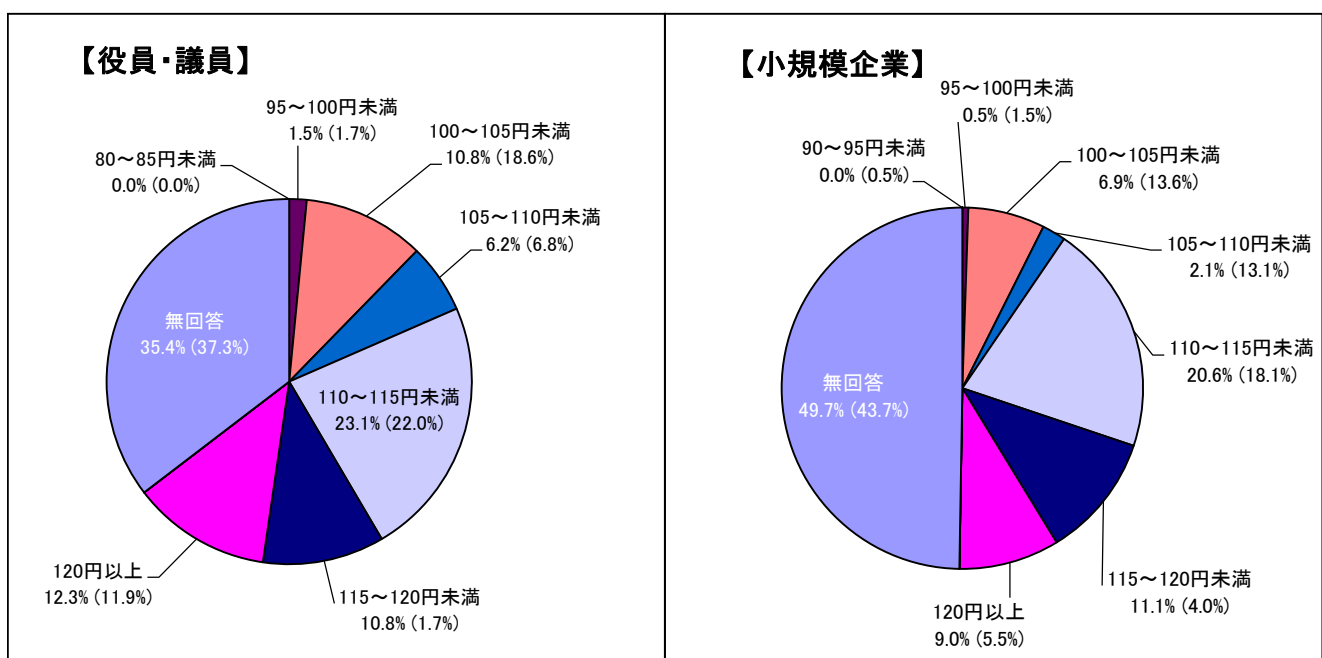


調査票記載の参考為替 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月10日)
 [始値] 113.46 [高値] 113.63 [安値] 113.20 [終値] 113.53

企業にとって望ましい為替水準は、「110～115円未満」が21.3%(対前年比+2.7%)で前年に続きトップ、次いで「115～120円未満」が11.0%(対前年比+7.1%)となった。110円未満の項目で前年と比べて回答割合が減少している。

規模別の望ましい為替水準

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「110～115円未満」がトップ

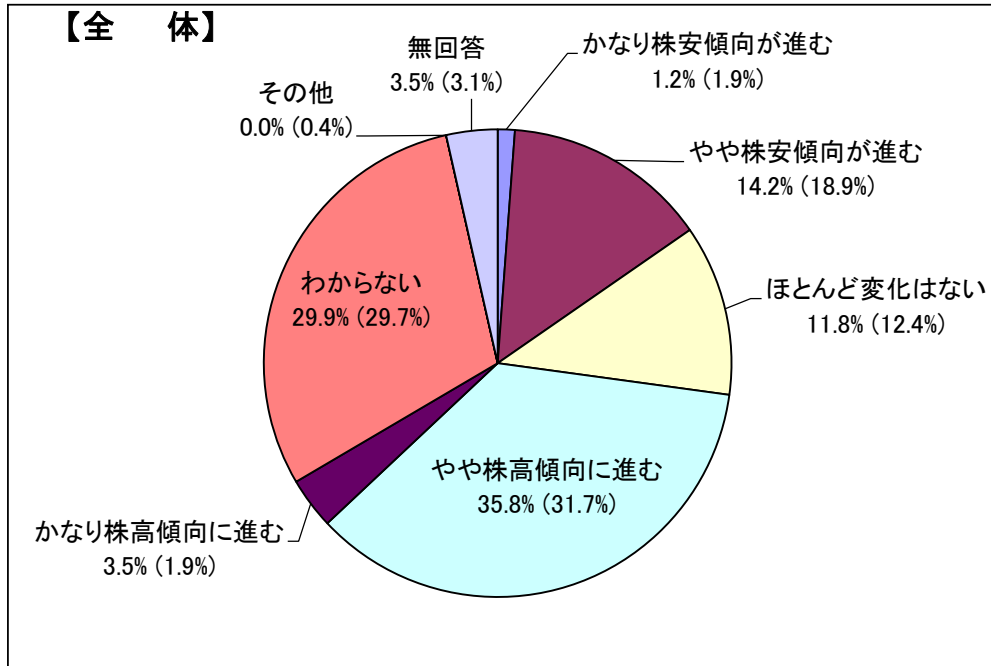


【役員・議員】、【小規模企業】どちらにおいても前年より円安傾向を望む声が拡大しているという結果となった。

株式市場予測

※ グラフの()内は、前年数値

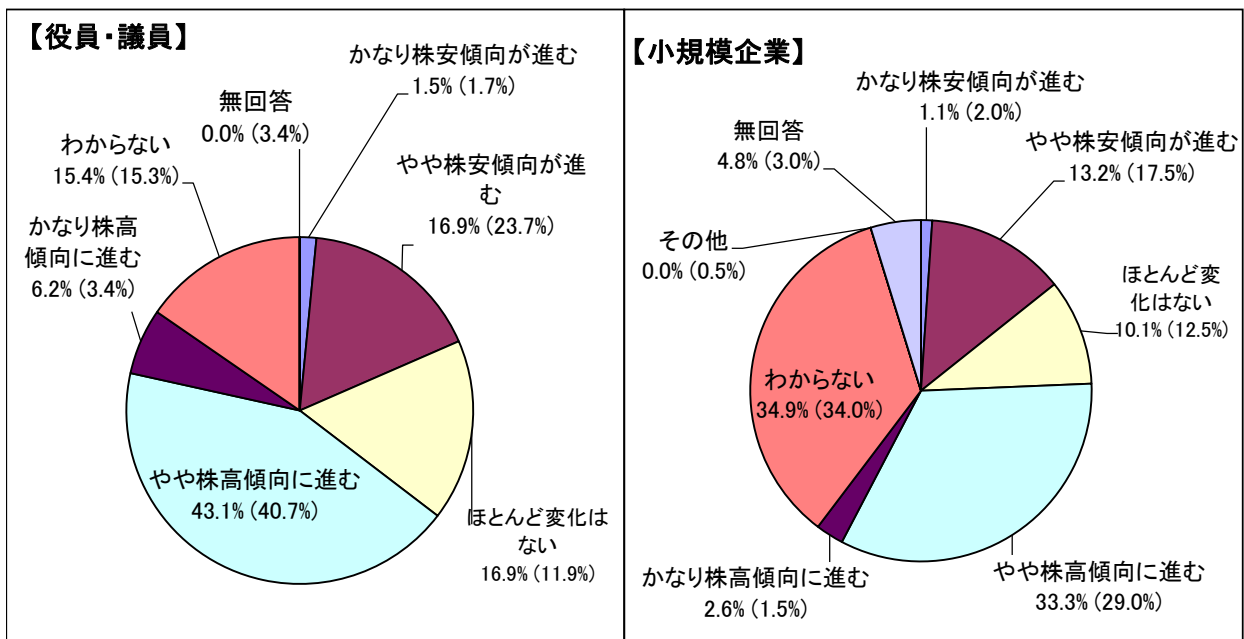
「やや株高傾向」35.8%、「やや株安傾向」14.2%と株高傾向との予測が増加



株式市場の予測は、昨年に引き続き「やや株高」が35.8%(対前年比+4.1%)でトップとなった。その一方で「やや株安」は14.2%(対前年比-4.7%)と減少しており、前年と比較してより株高傾向に進む結果となった。

規模別の株式市場予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに株高傾向がトップ

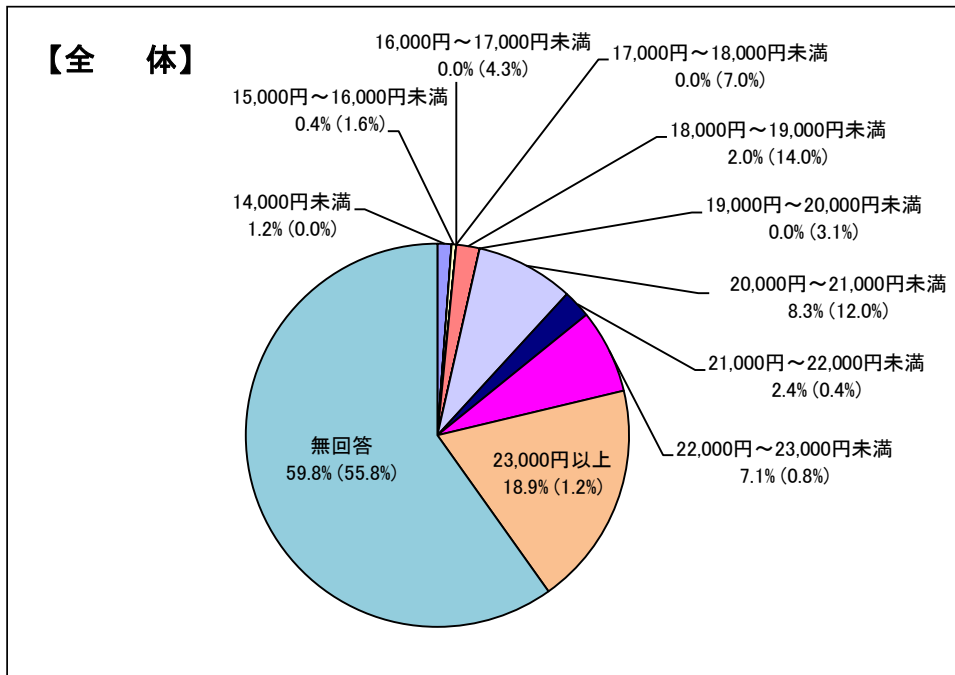


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「かなり株高傾向」「やや株高傾向」が増加し、「かなり株安傾向」「やや株安傾向」が減少する結果となった。

望ましい株価水準

※ グラフの()内は、前年数値

「23,000円以上」が18.9%でトップ

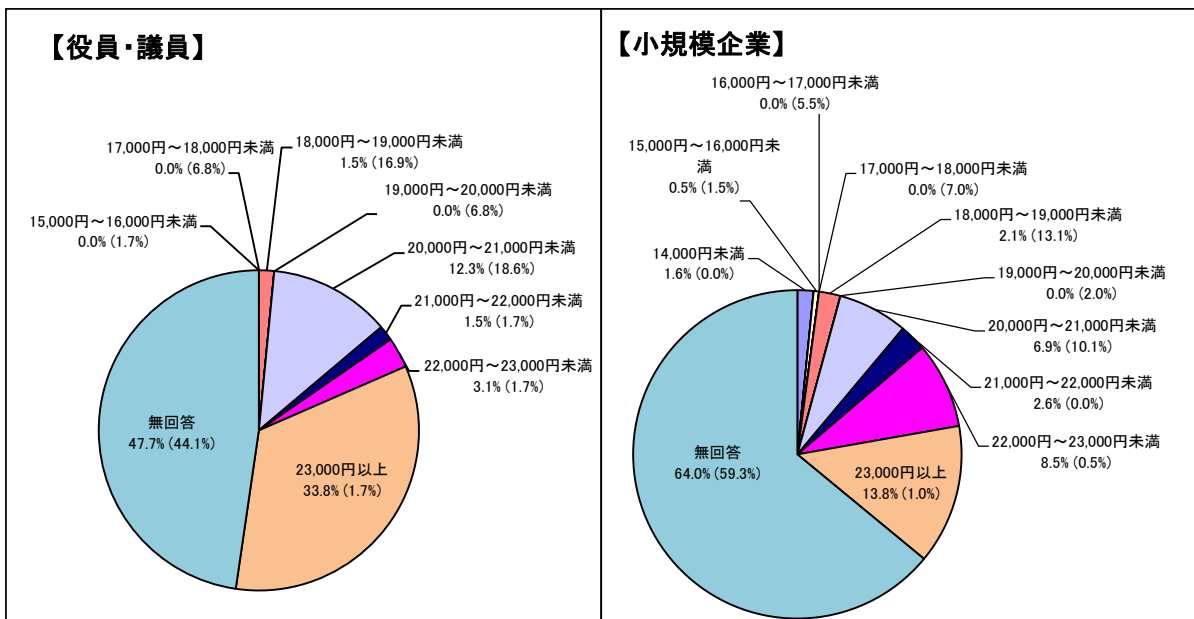


調査票記載の参考株価 国内株式 日経平均(円) (11月10日)
 [始値] 22,580.70 [高値] 22,724.39 [安値] 22,511.93 [終値] 22,681.42

望ましい株価水準は、「23,000円以上」が18.9%(対前年比+17.7%)と大きく数字を伸ばしトップ。次いで「20,000円～21,000円」が8.3%(対前年比-3.7%)と、前年と比較して株高傾向を望む声の大きい結果となった。

規模別の望ましい株価水準

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「23,000円以上」がトップ

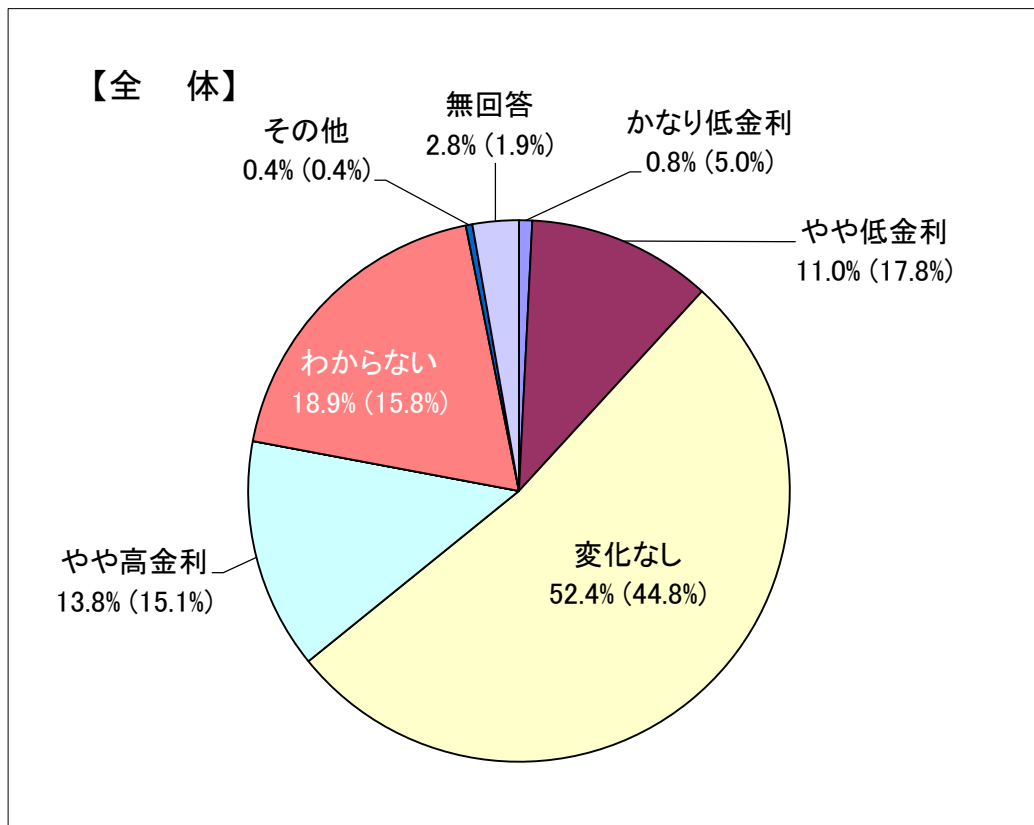


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「23,000円以上」がトップ。特に【役員・議員】においては対前年比+32.1%と大幅に増加している。次いで【役員・議員】は「20,000円～21,000円未満」、【小規模企業】は「22,000円～23,000円未満」と異なる結果となった。

金利予測

※ グラフの()内は、前年数値

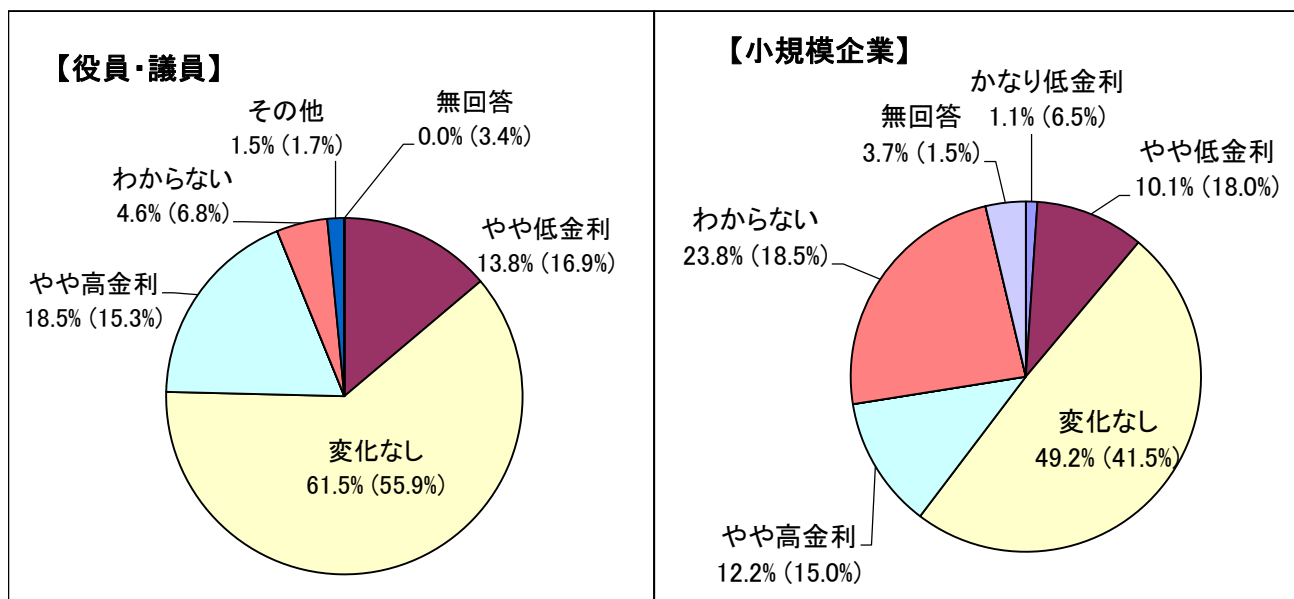
「変化なし」が52.4%でトップ、次いで「やや高金利」で13.8%



金利の推移予測では、「変化なし」が52.4%(対前年比+7.6%)で前年に続きトップ。次いで「やや高金利」が13.8%(対前年比-2.7%)、「やや低金利」が11.0%(対前年比-6.8%)となり、前年から2位と3位が入れ替わる結果となった。

規模別の金利予測

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップ

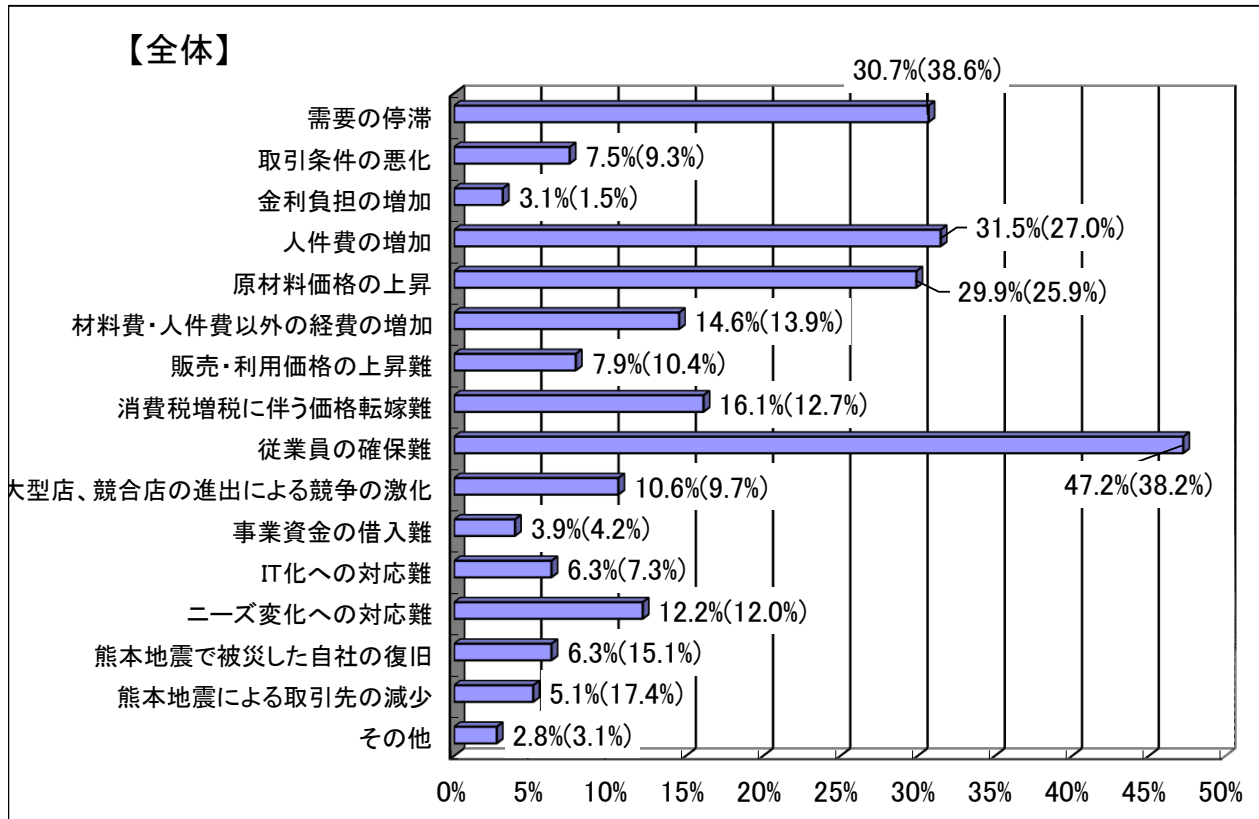


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップで、それぞれ、61.5%、49.2%とおおよそ半数を占めている。【役員・議員】においては、【小規模企業】で減少している「やや高金利」がわずかながら増加している。

経営上の問題点

(複数回答) ※ グラフの()内は、前年数値

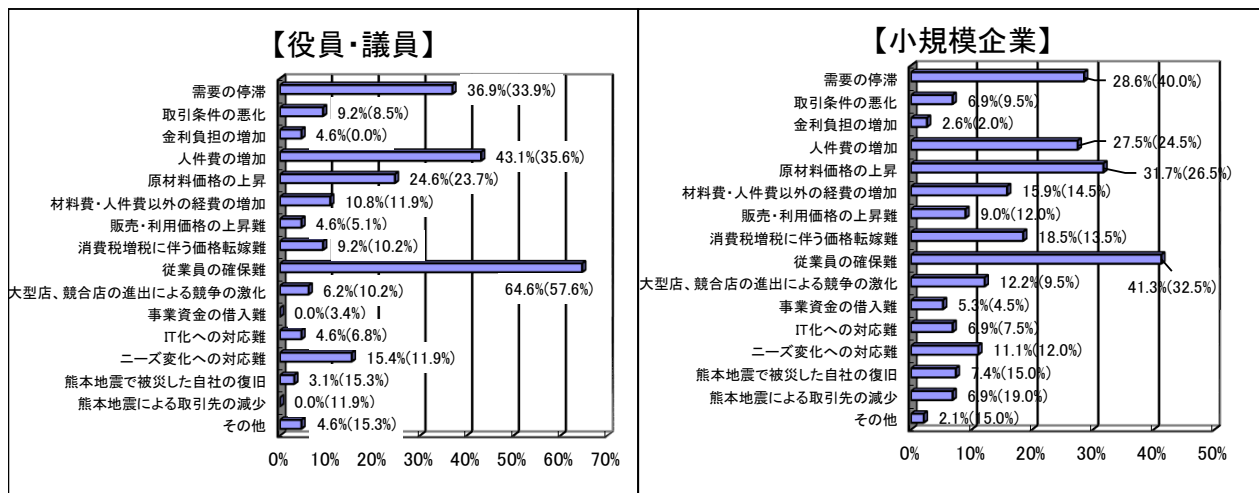
トップは「従業員の確保難」、次いで「人件費の増加」



経営上の問題点として最も多かったのは、「従業員の確保難」が47.2%(対前年比+9.0%)でトップ、次いで「人件費の増大」が31.5%(対前年比+4.5%)となり、人手不足が深刻さを増しているものと思われる。

規模別の経営上の問題点

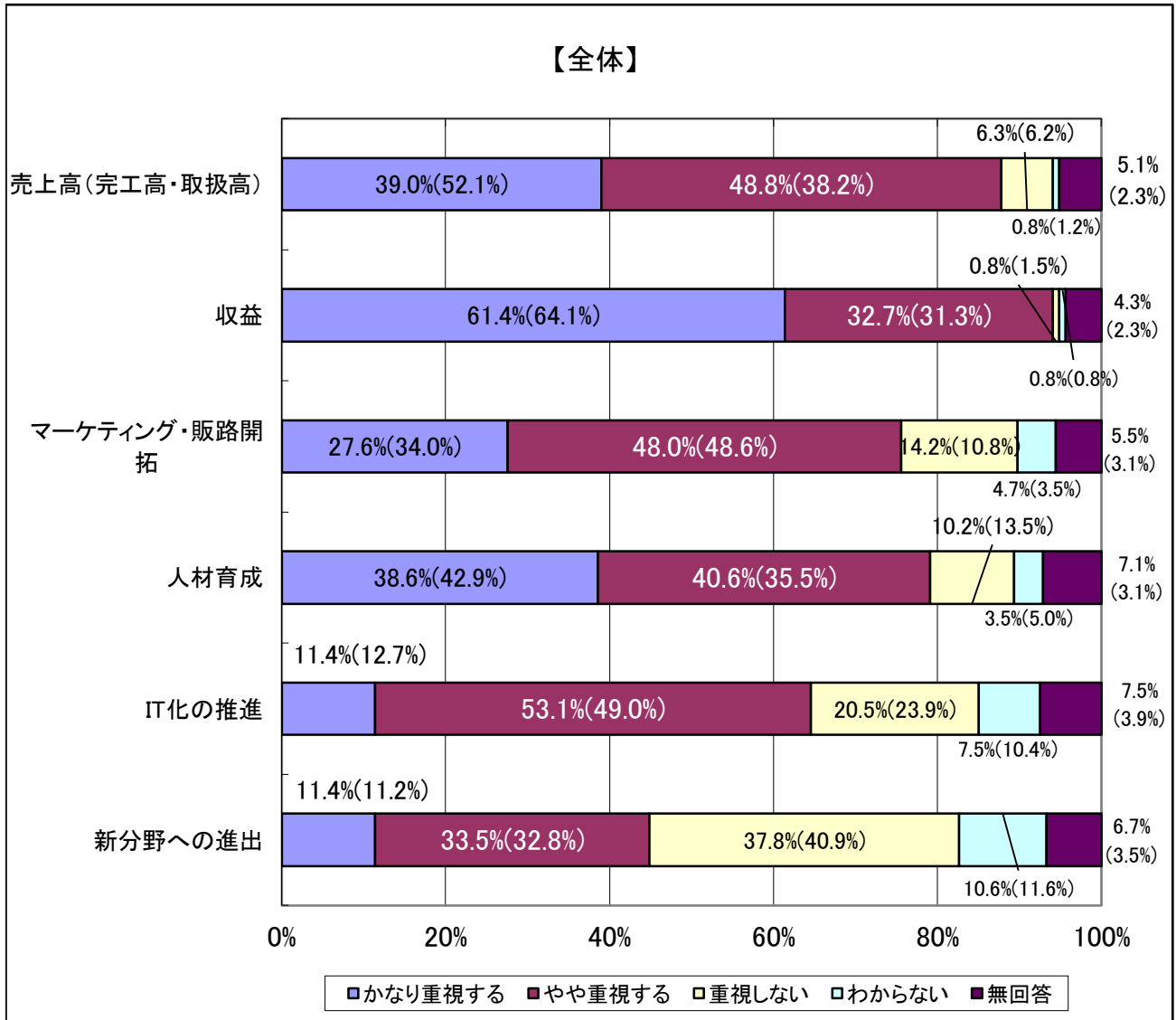
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「従業員の確保難」がトップ



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「従業員の確保難」がトップ。特に【役員・議員】では64.6%(対前年比+7.0%)となっており、多くの事業者が直面している課題といえる。次いで【役員・議員】が「人件費の増加」、【小規模企業】が「原材料価格の上昇」と異なる結果となった。

経営上の重視点

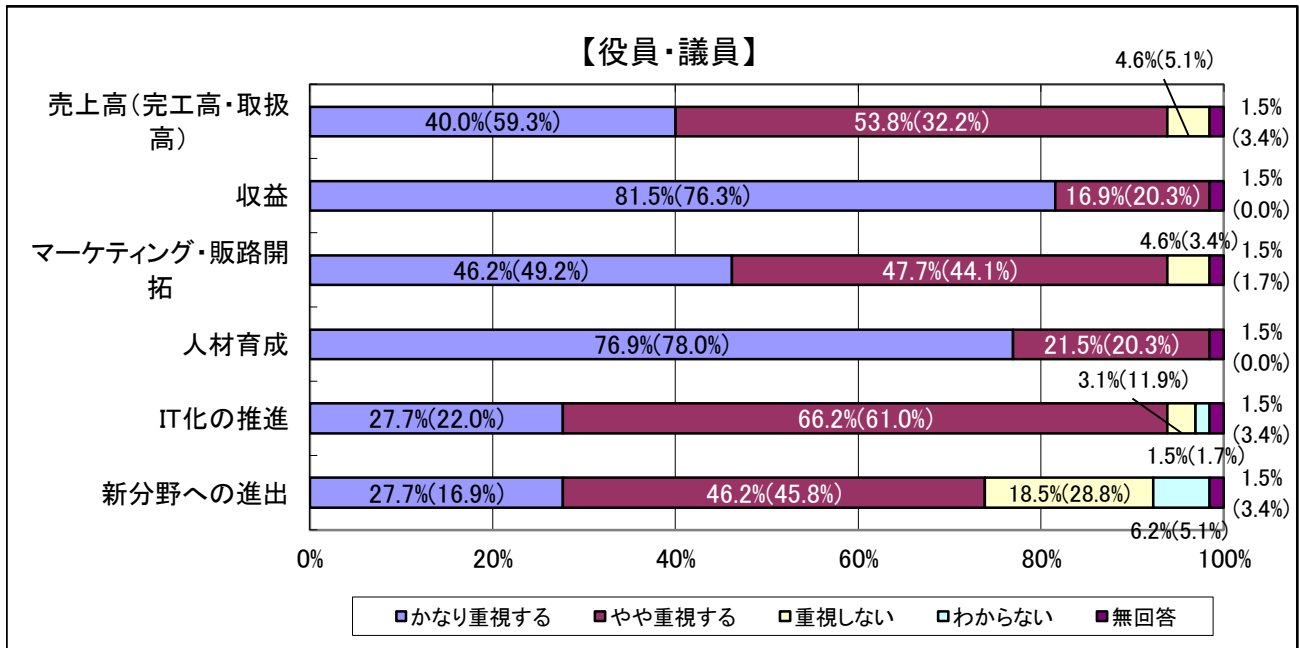
※ グラフの()内は、前年数値



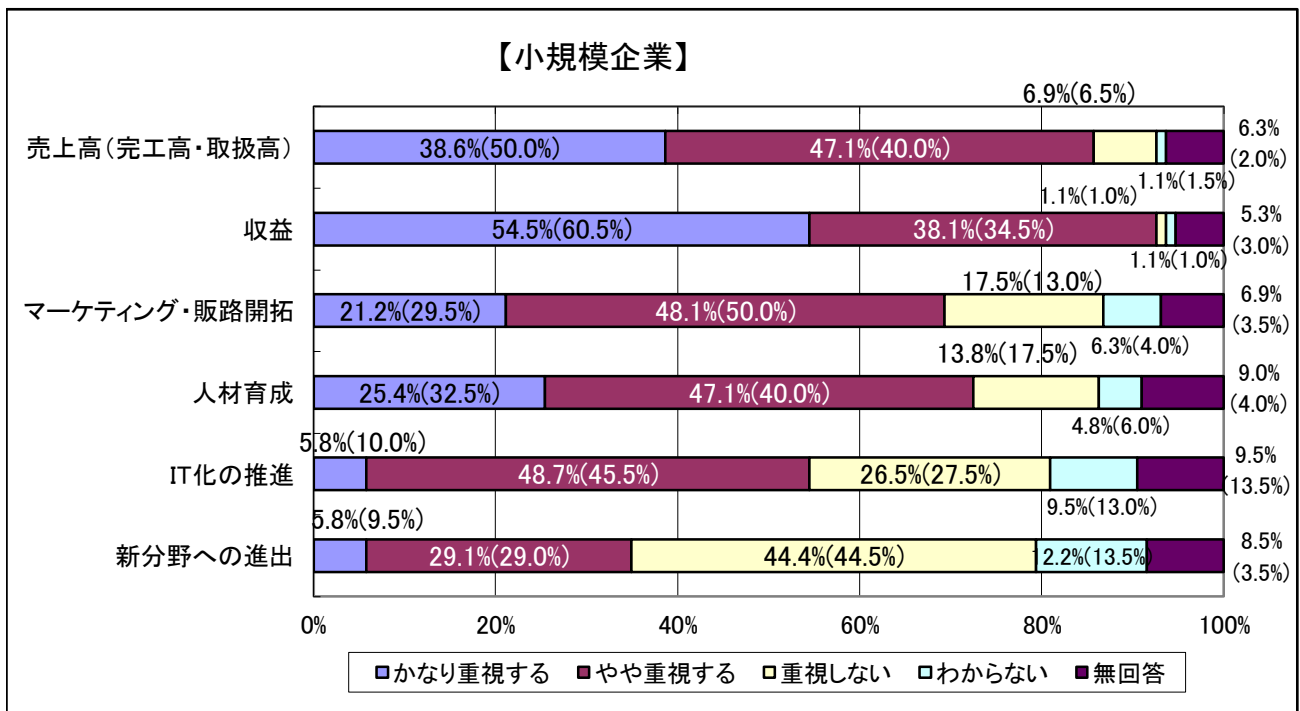
「(かなり+やや)重視する」割合が高いのは「収益」で94.1%(対前年比-1.3%)、次いで「売上高」が87.8%(対前年比-2.5%)、「人材育成」で79.2%(対前年比+0.8%)となった。

規模別の経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値



「(かなり+やや)重視する」が最も高いのは「収益」(対前年比+1.8%)と「人材育成」(対前年比+0.1%)でともに98.4%、その他「売上高」、「マーケティング・販路開拓」、「IT化の推進」の項目で9割を超えた。

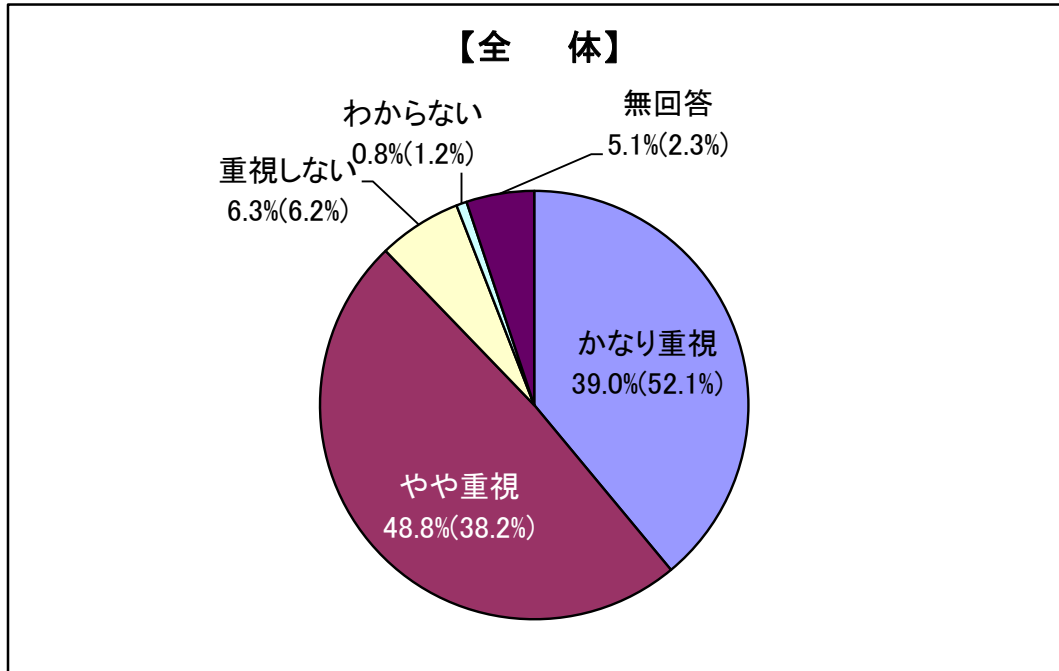


「(かなり+やや)重視する」割合が最も高いのは「収益」で92.6%(対前年比-2.4%)。また、【役員・議員】で93.9%が「重視する」と回答した「IT化の推進」は54.5%(対前年比-1.0%)に留まり、その差は39.4%と大きく開いた。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

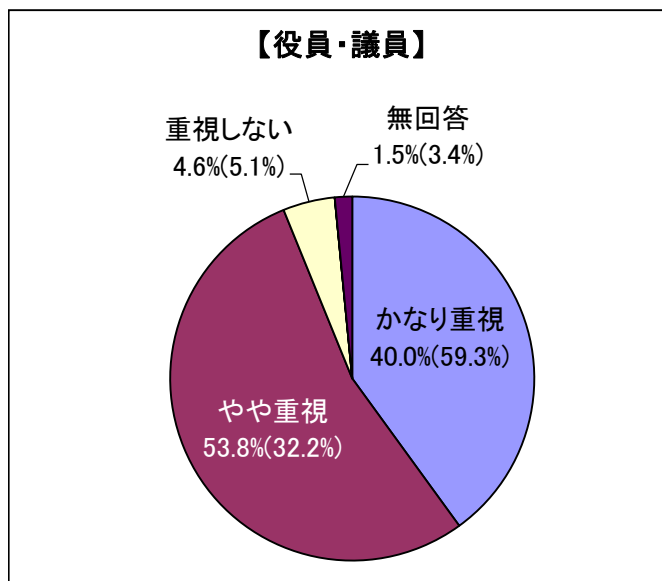
<売上高> トップは「やや重視」 48.8%



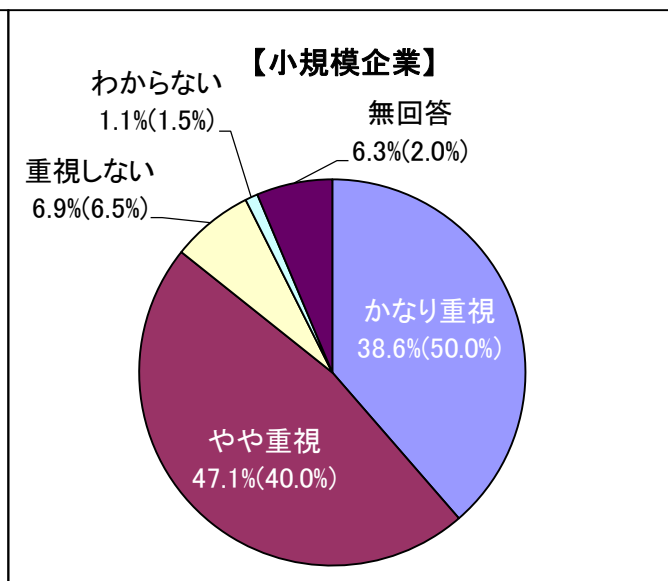
売上高については「やや重視する」が48.8%(対前年比+10.6%)、「かなり重視する」が39.0%(対前年比-13.1%)となり、前年と順位が入れ替わる結果となった。

規模別の経営上の重視点

<売上高> トップは「やや重視」 53.8%



<売上高> トップは「やや重視」 47.1%

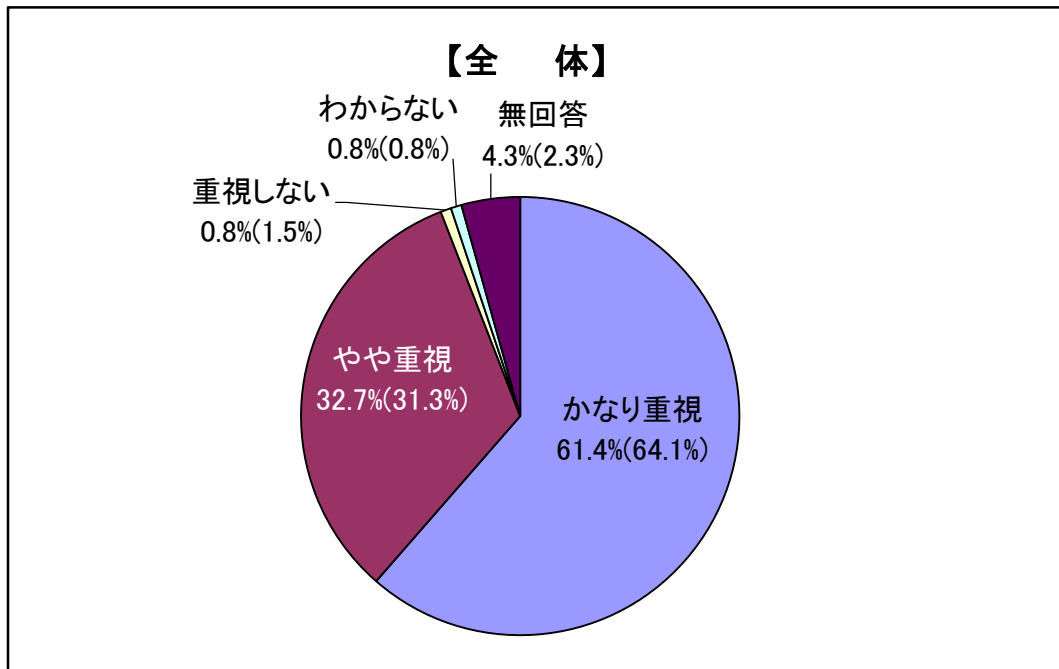


「やや重視」が【役員議員】で53.8%(対前年比21.6%)、【小規模企業】で47.1%(対前年比7.1%)と企業規模に関わらず増加となった。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<収益> トップは「かなり重視」 61.4%

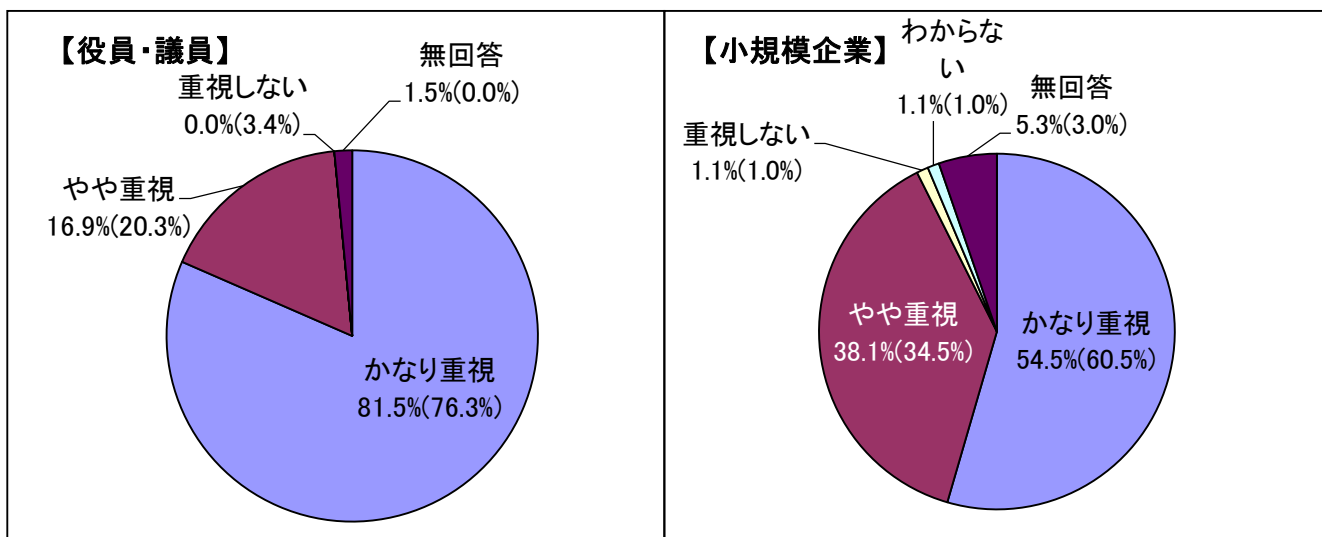


「かなり重視する」が61.4%(対前年比-2.7%)でトップ。「やや重視する」が32.7%(対前年比+1.4%)で、「重視する」が94.1%となり、対前年比-1.3%となった。

規模別の経営上の重視点

<収益> トップは「かなり重視」 81.5%

<収益> トップは「かなり重視」 54.5%

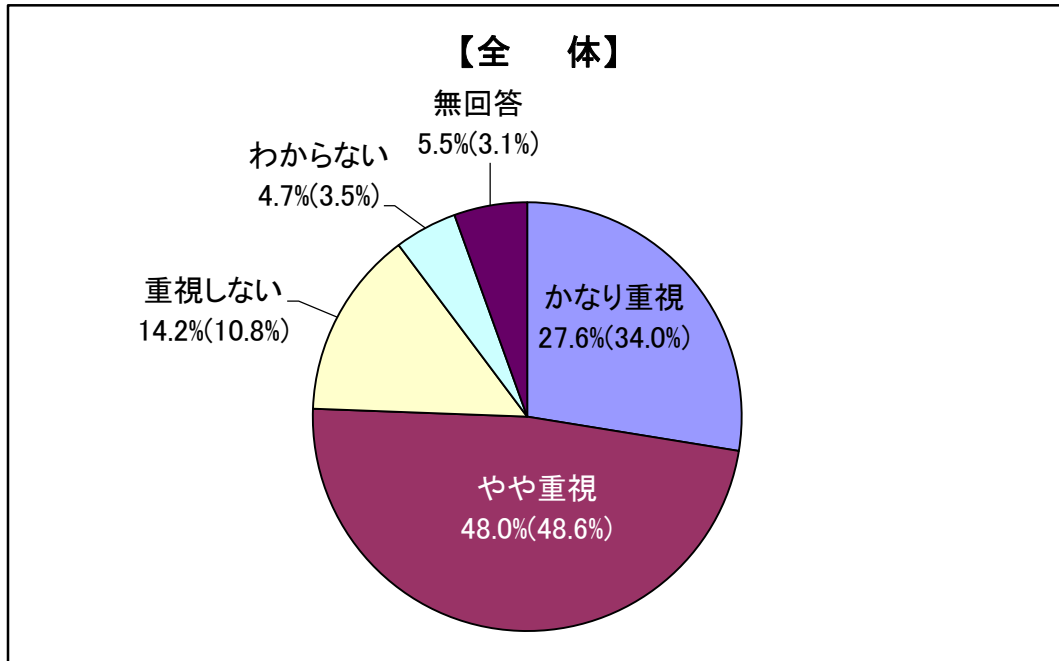


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「重視する」がそれぞれ98.4%(対前年比+1.8%)、92.6%(対前年比-2.4%)と高い割合を占めている。特に【役員・議員】では「かなり重視する」が81.5%と、【小規模企業】に比べ27.0%高くなっている。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 48.0%

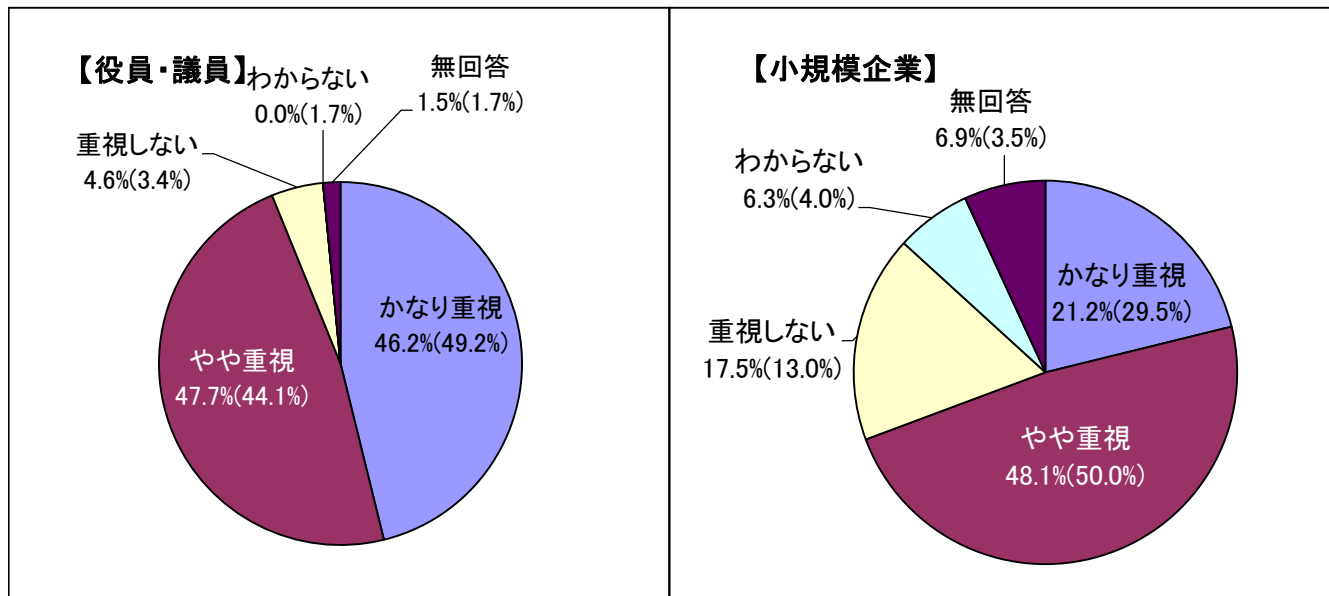


「やや重視」が48.0%(対前年比-0.6%)でトップ、次いで「かなり重視」が27.6%(対前年比-6.4%)、「重視しない」が14.2%(対前年比+3.4%)。昨年と比較すると「重視」という回答の割合が減少した。

規模別の経営上の重視点

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 47.7%

<マーケティング・販路開拓> トップは「やや重視」 48.1%

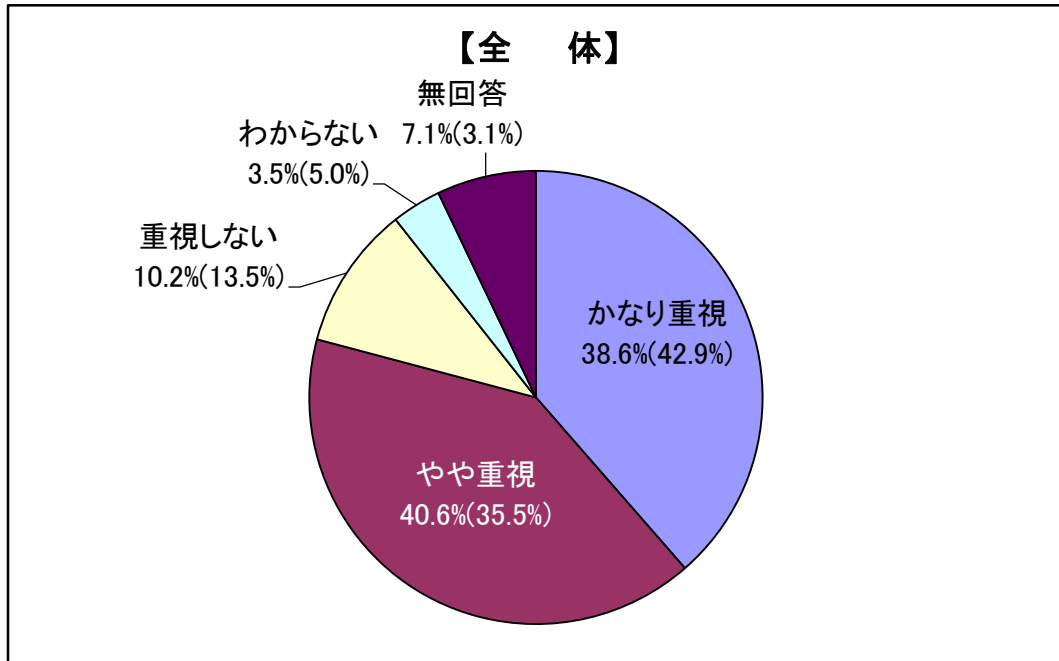


【役員・議員】は昨年とトップが入れ替わったものの、「やや重視」が47.7%(対前年比+3.6%)、「かなり重視」が46.2%(対前年比-3.0%)と「重視する」が9割を超えた。一方、【小規模企業】では昨年と比較し「かなり重視」(対前年比-8.3%)、「やや重視」(対前年比-1.9%)とも減少した。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

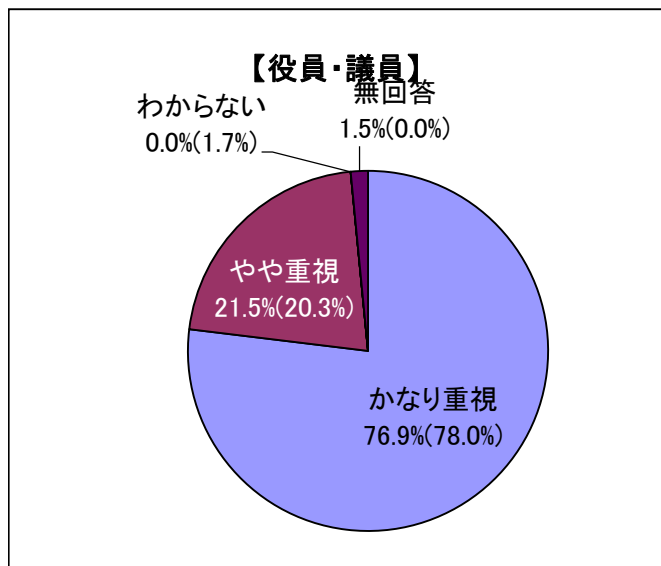
<人材育成> トップは「やや重視」 40.6%



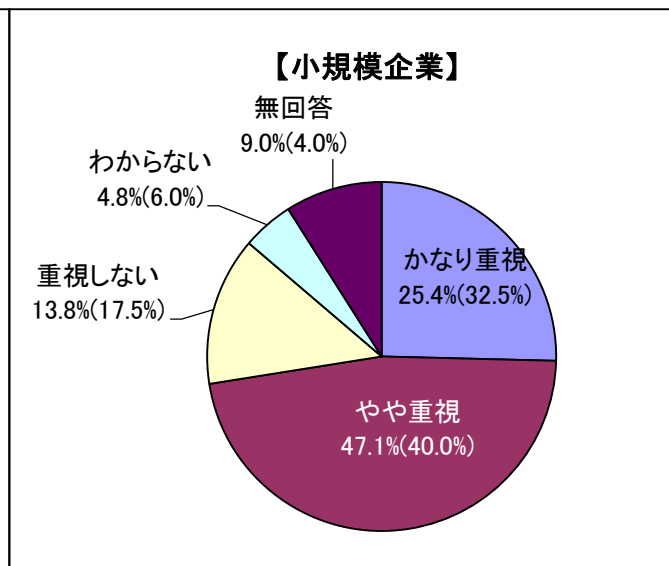
「やや重視する」が40.6%(対前年比+5.1%)でトップ。次いで、「かなり重視する」が38.6%(対前年比-4.3%)と、前年と順位が入れ替わった。

規模別の経営上の重視点

<人材育成> トップは「かなり重視」 76.9%



<人材育成> トップは「やや重視」 47.1%

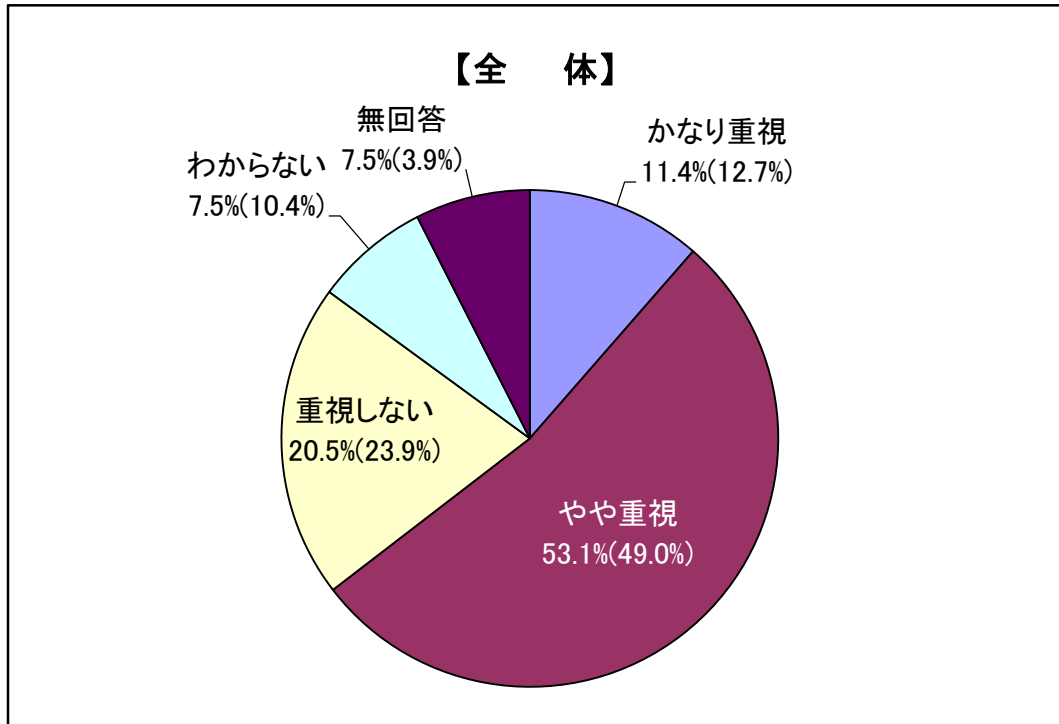


【役員・議員】では「(かなり+やや)重視する」が98.4%(対前年比+0.1%)、【小規模企業】では「(かなり+やや)重視する」が72.5%(対前年比±0)と、前年との大きな変化はなかったものの、いずれも「やや重視」の割合が増加した。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

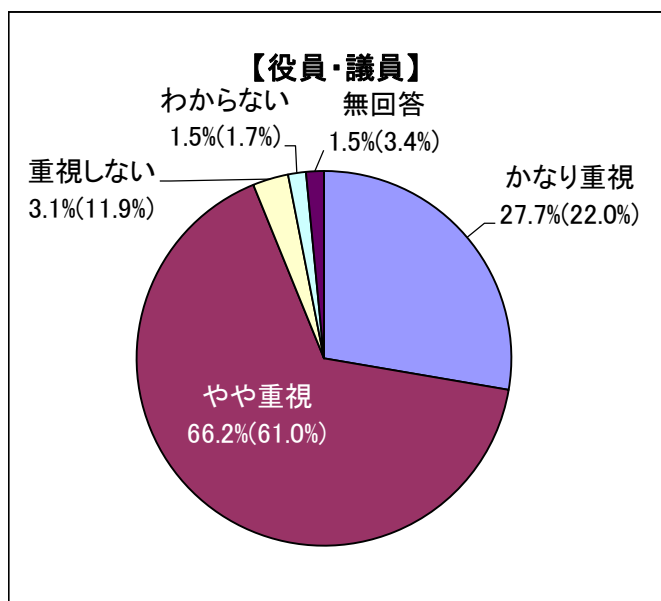
<IT化の推進> トップは「やや重視」 53.1%



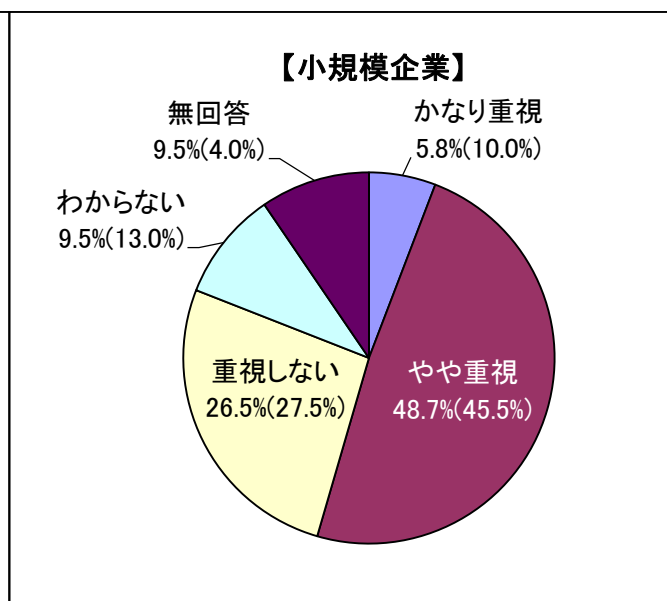
トップは「やや重視する」で49.0%(対前年比+4.1%)、次いで「重視しない」が20.5%(対前年比-3.4%)。「かなり重視する」は対前年比-1.3%となったものの、前年と比較すると「重視する」傾向にある。

規模別の経営上の重視点

<IT化の推進> トップは「やや重視」 66.2%



<IT化の推進> トップは「やや重視」 48.7%

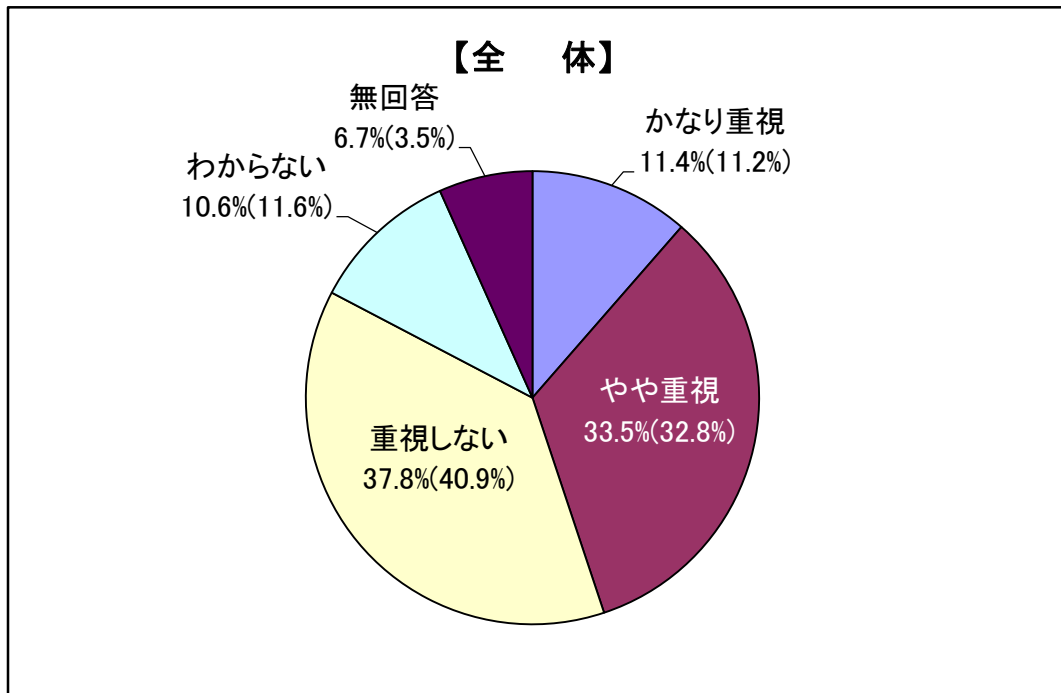


「(かなり+やや)重視する」の割合は【役員・議員】が93.9%(対前年比+10.9%)であるのに対し、【小規模企業】は54.5%(対前年比-1.0%)で、その差は39.4%と、前回同様大きな開きがある。

経営上の重視点

※ グラフの()内は、前年数値

<新分野への進出> トップは「重視しない」37.8%

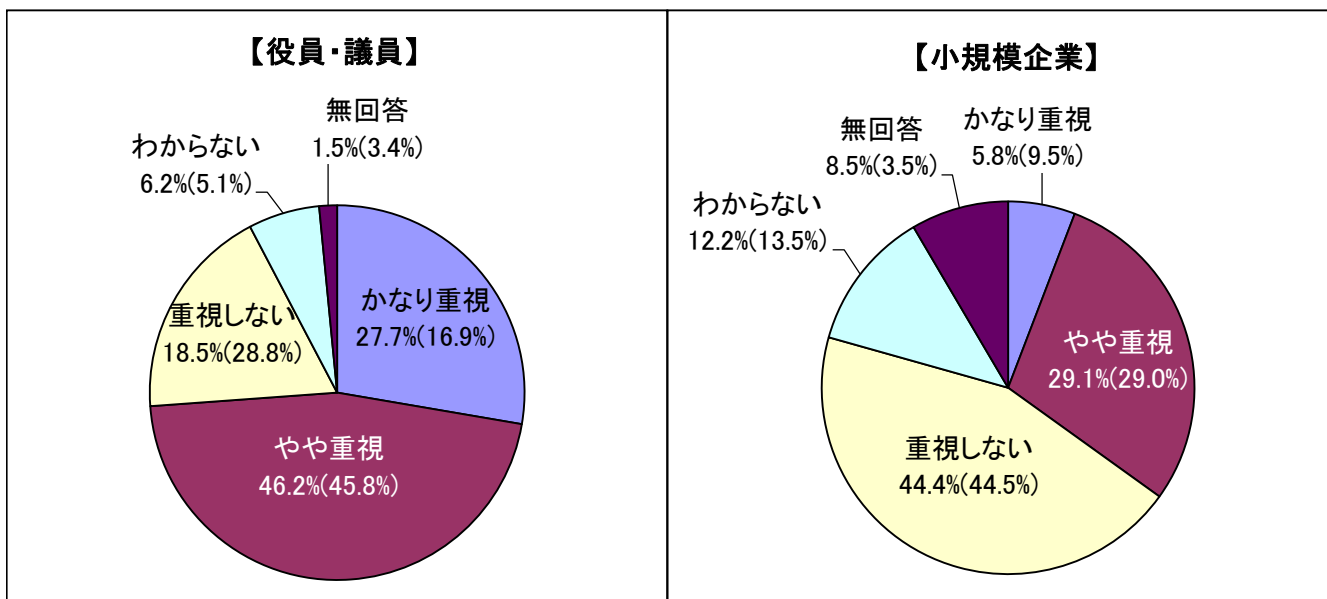


前回同様「重視しない」が37.8%(対前年比-3.1%)でトップ、次いで「やや重視」が33.5%(対前年比+0.7%)という結果となった。

規模別の経営上の重視点

<新分野への進出> トップは「やや重視」46.2%

<新分野への進出> トップは「重視しない」44.4%



「(かなり+やや)重視する」の割合は【役員・議員】が73.9%(対前年比+11.2%)であるのに対し、【小規模企業】は34.9%(対前年比-3.6%)で、その差は39.0%と、前回同様大きな差がある結果となった。

2018年経済予測アンケート

(事業所名)

景気

Q1 景気の現状について昨年（2016年）11月と比較して、どのように感じてもらえますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) かなり好転 | (2) やや好転 |
| (3) 変わらない | (4) やや悪化 |
| (5) かなり悪化 | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

Q2 県内の景気動向についてお尋ねします。本格的な景気回復の時期は、いつ頃からと思われますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 既に回復している | (2) 2018年上期から回復 |
| (3) 2018年下期から回復 | (4) 2019年から回復 |
| (5) 2019年以降に回復 | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

産業全体

Q3 現在（2017年11月）の業況水準を基準に、2018年の県内の各産業別の見通しについて、どのように予測されますか。□欄に○印をお付け下さい。（自社以外の業種についてもご回答をお願い致します。）

	かなり好転する	やや好転する	変わらない	やや悪化する	かなり悪化する	わからない
1. 全業種						
2. 製造業						
3. 建設業						
4. 運輸・通信業						
5. 卸売・小売業						
6. 飲食業						
7. 金融・保険業						
8. サービス業						

(※1～8の全ての業種に該当箇所のチェックをお願い致します。)

円市場

Q 4 - 1 現在（2017年11月上旬）の為替水準を基準に、2018年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月10日)

[始値] 113.46 [高値] 113.63 [安値] 113.20 [終値] 113.53

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 4 - 2 貴社にとって望ましい為替水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

(1ドル=) 円)

株式市場

Q 5 - 1 2018年の株式市場の見通しについて、現在（2017年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考 国内株式 日経平均(円) (11月10日)

[始値] 22,580.70 [高値] 22,724.39 [安値] 22,511.93 [終値] 22,681.42

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

Q 5 - 2 貴社にとって望ましい株価水準はいくらですか？
ご記入をお願いします。

() 円)

金利

Q 6 2018年における金利の見通しについて、今年（2017年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2018年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。(3項目以内)
- (1) 需要の停滞 (2) 取引条件の悪化
 (3) 金利負担の増加 (4) 人件費の増加
 (5) 原材料価格の上昇 (6) 材料費・人件費以外の経費の増加
 (7) 販売・利用価格の上昇難 (8) 消費税増税に伴う価格転嫁難
 (9) 従業員の確保難 (10) 大型店,競合店の進出による競争の激化
 (11) 事業資金の借入難 (12) IT化への対応難
 (13) ニーズ変化への対応難 (14) 熊本地震で被災した自社の復旧
 (15) 熊本地震による取引先の減少
 (16) その他()

経営の重視点

- Q 8 2018年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄に○印をお付け下さい。

	かなり重視する	やや重視する	重視しない	わからない
1. 売上高 (完工高、取扱高)				
2. 収益				
3. マーケティング 販路開拓				
4. 人材育成				
5. IT化の推進				
6. 新分野への進出				

コメント

- ① 熊本地震からの復興に関して、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

- ② 熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 商工観光振興部 情報調査課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343 / 352-5202